

第2章 電話

	ページ		ページ
電話をかける		親機の電話帳で電話をかける	
親機で電話をかける	2-2	相手の方を選んで電話をかける	2-31
子機で電話をかける	2-3	相手の方の名前で検索して電話をかける	2-32
電話を受ける		子機の電話帳に登録する	
親機で電話を受ける	2-4	子機の電話帳に登録する	2-33
子機で電話を受ける	2-5	子機の電話帳を修正する	2-35
子機を置いたまま電話をかける／受ける (スピーカーホン)		子機の電話帳を消去する	2-36
子機を置いたまま電話をかける	2-6	子機で文字を入力する	
子機を置いたまま電話を受ける	2-7	文字の種類(入力モード)を選ぶ	2-37
子機だけに電話がかかってくるようにする(優先呼出)		文字入力一覧表	2-38
優先呼出を設定する	2-8	文字を入力する	2-39
通話中にお待たせする(保留)		文字を修正する	2-40
親機で通話中にお待たせする	2-9	文字の入力方法	2-40
子機で通話中にお待たせする	2-9	子機の電話帳で電話をかける	
電話をかけ直す(再ダイヤル)		相手の方を選んで電話をかける	2-41
親機で電話をかけ直す	2-10	相手の方の名前の頭文字で検索して 電話をかける	2-42
子機で電話をかけ直す	2-11	親機と子機の間で電話帳を転送する	
親機と子機の間でお話する(内線通話)		親機の電話帳を子機に転送する	2-43
親機から子機を呼び出してお話する	2-12	子機の電話帳をすべて親機に転送する	2-44
子機から親機を呼び出してお話する	2-13	子機の電話帳を1件ずつ親機に転送する	2-44
子機と子機の間でお話する (トランシーバー方式内線通話)	2-14	見てからダイヤルを利用する	
電話をとりつぐ(とりつぎ転送)		見てからダイヤルに番号を登録する	2-45
親機から子機へ電話をとりつぐ	2-16	見てからダイヤルで電話をかける	2-47
子機から親機へ電話をとりつぐ	2-16	ホットラインダイヤルを利用する	
子機から子機へ電話をとりつぐ (トランシーバー方式転送)	2-17	ホットラインダイヤルに番号を登録する	2-48
電話を自分ひとりでもとりつぐ(ひとり転送)		ホットラインダイヤルで電話をかける	2-48
親機から子機へとりつぐ	2-19	<留守番電話>	
子機から親機へとりつぐ	2-19	留守に設定する	2-49
子機から他の子機へとりつぐ	2-19	留守設定を解除する	2-52
<電話帳>		録音されている内容を聞く(再生する)	
親機の電話帳に登録する		親機で録音内容を再生する	2-53
親機の電話帳に登録する	2-20	子機で録音内容を再生する	2-54
親機の電話帳を修正する	2-23	録音されている内容を消去する	
親機の電話帳を消去する	2-25	録音を1件消去する	2-55
親機で文字を入力する		録音をすべて消去する	2-55
文字の種類(入力モード)を選ぶ	2-26	オリジナル応答メッセージを録音する	2-56
文字入力一覧表	2-27		
ひらがな／漢字を入力する	2-28		
カタカナ／英字／数字を入力する	2-29		
文字を修正する	2-30		
文字の入力方法	2-30		



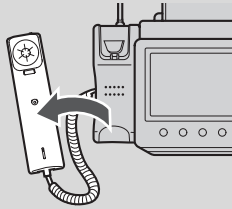
電話をかける

親機で電話をかける

親機で電話をかけるときの操作です。

操作のしかた

1 受話器を取る



2 「ツー」という音が聞こえたら ダイヤルする

0312345678

伝言メモ 登録/機能 電話帳登録 カレンダー

- まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
- 押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。(読上げボイスダイヤル機能)

①あ 1	「イチ」	⑧や TUV	「ハチ」
②い 2	「ニ」	⑨う WXYZ	「キュウ」
③え 3	「サン」	⑩ひ 0 呼び出し 待受け	「ゼロ」
④お 4	「ヨン」	＊ トーン	「スター」
⑤な 5	「ゴ」	#	「シャープ」
⑥は 6	「ロク」	📞	「ポーズ」
⑦ま 7	「ナナ」		

■ 途中でやめるときは
受話器を戻します。

■ 電話がかけられないときは (☎ 7-11ページ)

■ 通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信 (☎ 8-6ページ) を「なし」にします。

■ 通話中にファクスを受信するときは

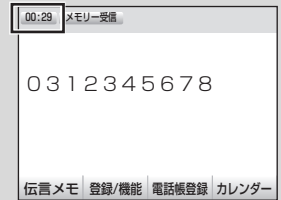
親機で通話中のときは $FAX29+ \textcircled{\downarrow}$ 、子機で通話中のときは $\textcircled{\text{機能}}$ を押します。

■ 読上げボイスダイヤル機能を設定/解除するときは (☎ 4-40ページ)

3 相手の方とお話する



- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。



4 通話が終わったら 受話器を戻す

■ 読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは
「親機のスピーカー音量を変える」の操作をしてください。(☎ 1-36ページ)

(読上げボイスダイヤル機能の音量は、親機のスピーカー音量と連動しています。スピーカー音量を変えずに読上げボイスダイヤル機能の音量だけを変えることはできません。)

■ 受話器を取らずに電話をかけるときは

☎ を押してからダイヤルします。
スピーカーから相手の声が聞こえますので、天気予報や時報を聞くときに便利です。ただし、相手の方との通話はできません。通話するときは受話器を取ってお話してください。

お知らせ

- 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。
- 電話をかけた相手の方がナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクシミリで、ナンバー・ディスプレイなどのサービスをご利用のときは、ご自分の電話番号が相手の方に通知(表示)されます。通知する/しないは、現在お選びの番号通知方法によって異なります。
- 読上げボイスダイヤルの発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声を止め、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声途切れます。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。



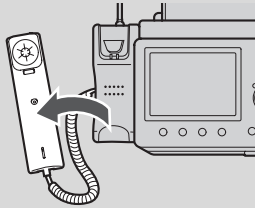
電話を受ける

親機で電話を受ける

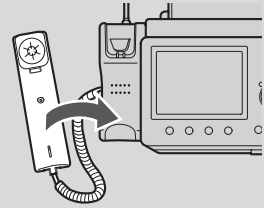
親機で電話を受けるときの操作です。

操作のしかた

1 着信音が鳴ったら 受話器を取る



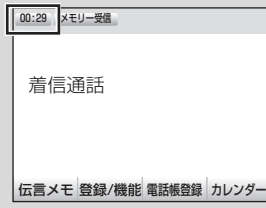
3 通話が終わったら 受話器を戻す



2 相手の方とお話し する



- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。



- 着信音の大きさを変えるときは
(親機の着信音量を変える 1-32ページ)

- 通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。

頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。(8-6ページ)

- 通話中にファクスを受信するときは
(2-2ページ)

- 「着信がありました」と表示されているときは

着信記録を表示(6-12ページ)すると、電話がかかってきた日時を確認することができます。ナンバー・ディスプレイを契約しているときは、相手の方の電話番号や、電話帳に登録されている名前も表示します。

なお、表示されるのは、着信あり表示の設定が「あり」になっているときです。

はじめは「なし」に設定されています。(6-12ページ)

お知らせ

- ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。(6-5ページ)
- 表示される通話時間は59分59秒までです。この時間を超えると0秒から新しくカウントされます。

子機で電話を受ける

子機で電話を受けるときの操作です。

電話がかかってくると、最初に親機の着信音が鳴って、少し遅れて子機の着信音が鳴ります。

操作のしかた

- 1** 着信音が鳴ったら
充電器から取って
電話ボタンを押す



- 通話ボタンが点灯します。

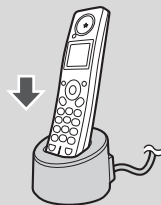
- 2** 相手の方とお話
する




- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。


0:30


- 3** 通話が終わったら
充電器に戻す





- 通話ボタンが消灯します。
- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
- 通話時間の表示は、約5秒後に消え、待受画面に戻ります。

- 着信音が鳴っているときに音を「切」にするときは
着信音が鳴っているときに  を押すと、音が「切」になります。(親機は鳴り続けます。)
次に電話がかかってきたときは、もとの設定している着信音が鳴ります。

- 着信音の大きさを変えるときは
(子機の着信音量を変える  1-34ページ)

- 通話中や相手の方が保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは
声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信を「なし」にします。( 8-6ページ)

お知らせ

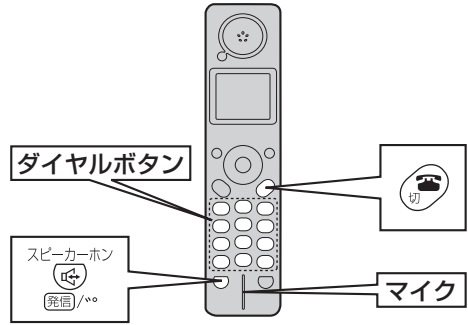
- クイック通話の設定を「ON」にしているときは、子機を充電器から取るだけで、通話ボタンを押さなくても電話を受けることができます。(クイック通話を設定する  4-47ページ)
- 子機や充電器を設置するときは、親機やPHS/携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。(できるだけ離してください。) 子機の着信音が鳴らなくなることがあります。
- ナンバー・ディスプレイを契約すると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。( 6-5ページ)
- 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話を受けることはできません。また、着信音も鳴りません。



子機を置いたまま電話をかける／受ける（スピーカーホン）

子機を置いたまま電話をかける

子機を置いたまま電話をかけてお話しすることができます。（スピーカーホン）




操作のしかた


1 ダイヤルする

2 を押す



- 通話ボタンが点灯して、ディスプレイの  マークが表示されます。

■ 途中でやめるときは

-  を押します。

■ 「ピーピー」という音が聞こえるときは (7-29ページ)

■ 相手の方の声が聞こえにくいときは (子機のスピーカー音量を変える 1-37ページ)

3 マイクに向かって相手の方とお話する



- マイクから約50cm～2mの範囲内でお話してください。
- 通話中は通話時間（目安）を表示します。

4 通話が終わったら

を押す

- 通話時間（目安）は約5秒後に消えます。

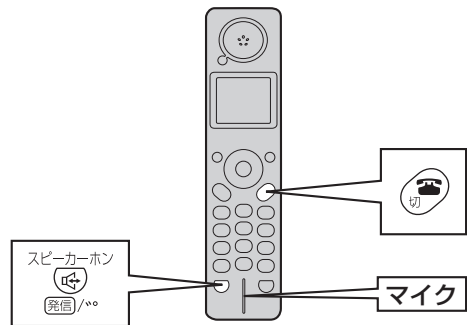
お知らせ

- スピーカーホン通話中に、スピーカーの音量を「大」にすると、音が途切れることがありますが、故障ではありません。
- 子機を持って通話中にスピーカーホンボタンを押すと、スピーカーホンでの通話に切り替えることができます。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）
- 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンは解除されます。）
- スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手からの電話がつながったときは、こちらの声が相手に聞こえないことがあります。こんなときは、子機を取ってお話しください。
- 子機で電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は動きません。

子機を置いたまま電話をかける／受ける（スピーカーホン）

子機を置いたまま電話を受ける

子機を置いたまま電話を受けてお話しすることができます。（スピーカーホン）



2

電話帳
留守番

子機を置いたまま電話をかける／受ける（スピーカーホン）

操作のしかた

1 着信音が鳴ったら スピーカーホン を押す

発信/〆〆



- 通話中は通話時間（目安）を表示します。
- 通話ボタンが点灯して、ディスプレイの
📞マークが表示されます。

2 マイクに向かって 相手の方とお話し する



- マイクから約50cm～2mの範囲内でお話
してください。

■ 相手の方の声が聞こえにくいときは
（子機のスピーカー音量を変える 1-37ページ）

■ 着信音の大きさを変えるときは
（子機の着信音量を変える 1-34ページ）

3 通話が終わったら 📞を押す

- 通話時間（目安）の表示は、約5秒後に消
え、待受画面に戻ります。

📞 お知らせ

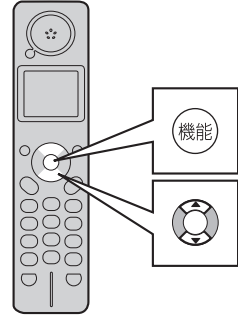
- スピーカーホン通話中に、スピーカーの音量を「大」にすると、音が途切れることがありますが、故障ではありません。
- 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンが解除されます。）
- 子機を持って通話しているとき、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホン通話になります。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）



子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）



優先呼出を設定する

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、設定された子機だけに着信音が鳴ります。



操作のしかた



通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1  を押し、
 で「ユウセン
 ヨビダシ」を選ぶ


ユウセンヨビダシ

2  を押す



 優先呼出
 セッテイシマシタ

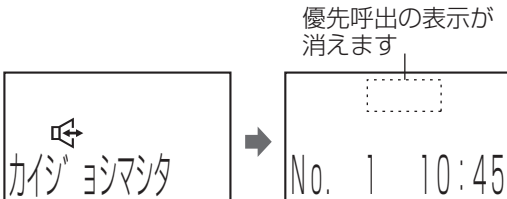
- 「ピー」と鳴り、ディスプレイに  と  マークが表示されて、優先呼出が設定されます。
- 「優先呼出を設定しました」と音声メッセージが流れます。

■ 途中でやめるときは



 を押します。

■ 優先呼出を解除するとき

ディスプレイに  が表示されているときに、手順1～2の操作をします。「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの  が、消えます。「優先呼出を解除しました」と音声メッセージが流れます。



お知らせ

- 設定後、9時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
- 優先呼出を設定できる子機は、1台のみです。すでに他の子機を優先呼出に設定しているときは、「ピピピピ」とアラームが鳴り、優先呼出を設定することはできません。
- 優先呼出を設定したあとで、子機の充電電池を交換すると、 の表示は消えますが優先呼出は設定されたままになります。 を表示させるときは、解除してもう一度設定し直してください。
- 優先呼出を設定しているときは、親機や他の子機で電話を受けることはできません。
- 優先呼出を設定していても、留守設定時は留守機能が動き、親機で自動応答します。
- 親機でコピー中、プリント中のときは、優先呼出を設定していても、子機で電話を受けることはできません。また、着信音も鳴りません。コピー・プリント終了後は、子機で受けることができます。

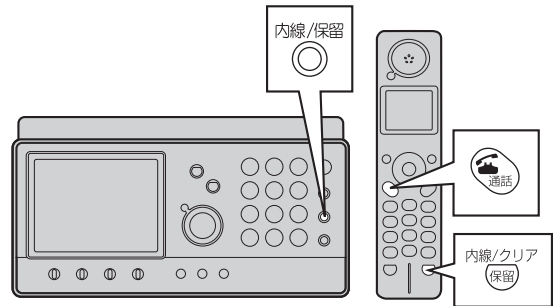
子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

2 電話帳 留守番

通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディーを流します。

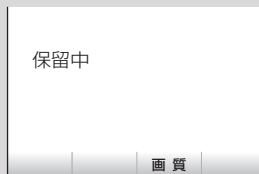
（曲名：「メヌエット（アルルの女）」）



親機で通話中にお待たせする

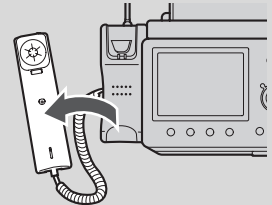
操作のしかた

- 1** 通話中に
内線/保留
○を押して、
受話器を戻す



- 保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

- 2** 再び通話するときは
受話器を取る



- 保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
- 受話器を戻さなかったときは、もう一度、内線/保留ボタンを押すと、再び通話できます。

子機で通話中にお待たせする

操作のしかた

- 1** 通話中に
内線/クリア
保留を押す

- 保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。
- 通話ボタンが点滅します。

- 2** 再び通話するときは
通話 または 内線/クリア
保留を押す

- 保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
- 通話ボタンが点灯します。

- 保留中に他の電話機で電話に出るときは
（ひとり転送 2-19ページ）

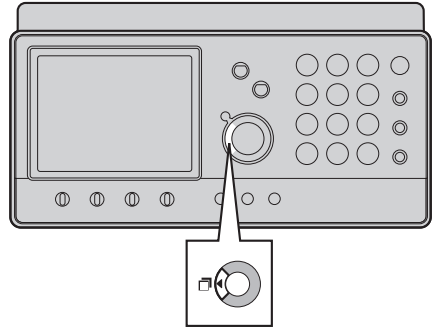


電話をかけ直す（再ダイヤル）

親機で電話をかけ直す

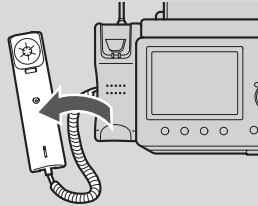
相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。

親機では、最後にかけた電話番号が1件記憶されています。

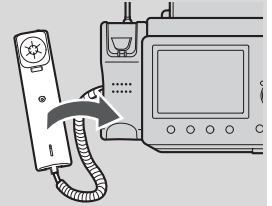


操作のしかた

1 受話器を取る



3 通話が終わったら 受話器を戻す



2 ツーという音が 聞こえたら

☎️ **を押す**

0312345678

伝言メモ 登録/機能 電話帳登録 カレンダー

- 親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
- まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確認めたあと、再ダイヤルボタンを押してください。
- 最後にかけた相手の方に電話をかけます。

■途中でやめるときは

受話器を戻します。

■親機の再ダイヤルの記憶を消去するとき

受話器を置いたまま操作します。

- ① ☎️ を押す
- ② キャッチ/消去 を押す
- ③ 「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去されます。

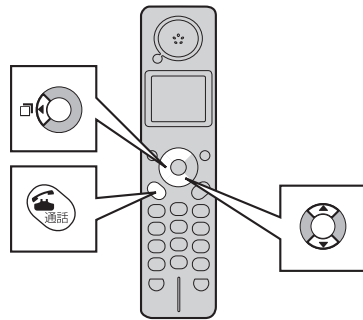
👉 お知らせ

- 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。
- 再ダイヤルで電話をかけ直すときは、読上げボイスダイヤル機能は動きません。

子機で電話をかけ直す

相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。

子機では、最大3件記憶されています。



操作のしかた

1 子機を充電器から

取って

 を押す

0312345678

●最後にかけた相手の方が表示されます。

2 で選び、

 を押す

09087654321

●通話ボタンが点灯し、選んだ電話番号にダイヤルされます。

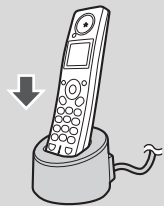
●子機で再ダイヤルできる番号は最大24ケタまでです。

●子機を置いたまま電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。

3 相手の方とお話しする




4 通話が終わったら充電器に戻す





●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

■途中でやめるときは


 を押します。

■子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するとき

は通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

①  を押し、 で「サイダイヤルクリア」を選ぶ

②  を押す

③ もう一度、 を押す（「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶を消去し、待受画面に戻ります。）

お知らせ

●呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。

●再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

●子機の再ダイヤルの記録を、1件ずつ消去することはできません。

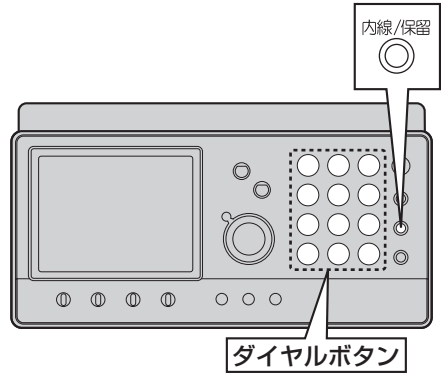
●親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。



親機と子機の間でお話する（内線通話）

親機から子機を呼び出してお話する

親機から子機を呼び出して、お話しします。



操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 親機

受話器を取って
内線/保留
 を押し、
子機の内線番号を
押す

子機呼び出し 1

画面

(例) 子機1のとき を押す

- 子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

2 子機

着信音が鳴ったら
充電器から取って
通話
 を押す

- 通話ボタンが点灯します。

3 親機 子機

お話しする

4 通話が終わったら

親機
受話器を戻す

子機
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ 親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら

親機のスピーカーや子機を受話口からそれぞれに着信音が聞こえます。

親機で話すには

- ① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）
- ② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）

子機で話すには

- ① を押す（内線通話が切れます。）
- ② 子機の着信音が鳴り始めたら、 を押す（外の相手の方と通話できます。）

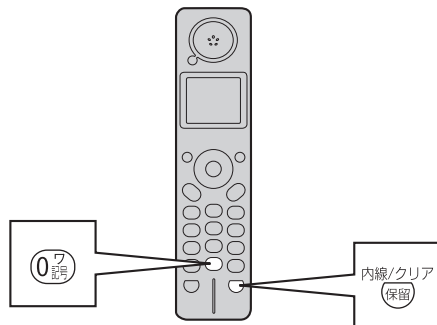
お知らせ

- 内線通話では、保留はできません。
- 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。
- 内線通話のときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
- 内線通話の着信音色を変えることはできません。
- 子機の着信音量を「キリ」に設定していても、内線通話の着信音は「ショウ」の大きさと鳴ります。

親機と子機の間でお話する（内線通話）

子機から親機を
呼び出してお話する

子機から親機を呼び出してお話しします。



操作のしかた

1  子機

子機を充電器から

取って

内線/クリア

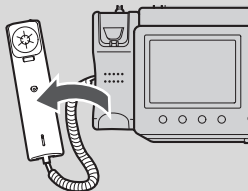
を押し、
「ナイセン:」と表
示されたら親機の
内線番号(07)を
押す

● 通話ボタンが点滅します。

2  親機

着信音が鳴ったら

受話器を取る

3  親機  子機

お話しする



4 通話が終わったら

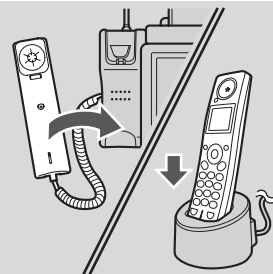
 親機

受話器を戻す

 子機

充電器に戻す

● 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

 お知らせ

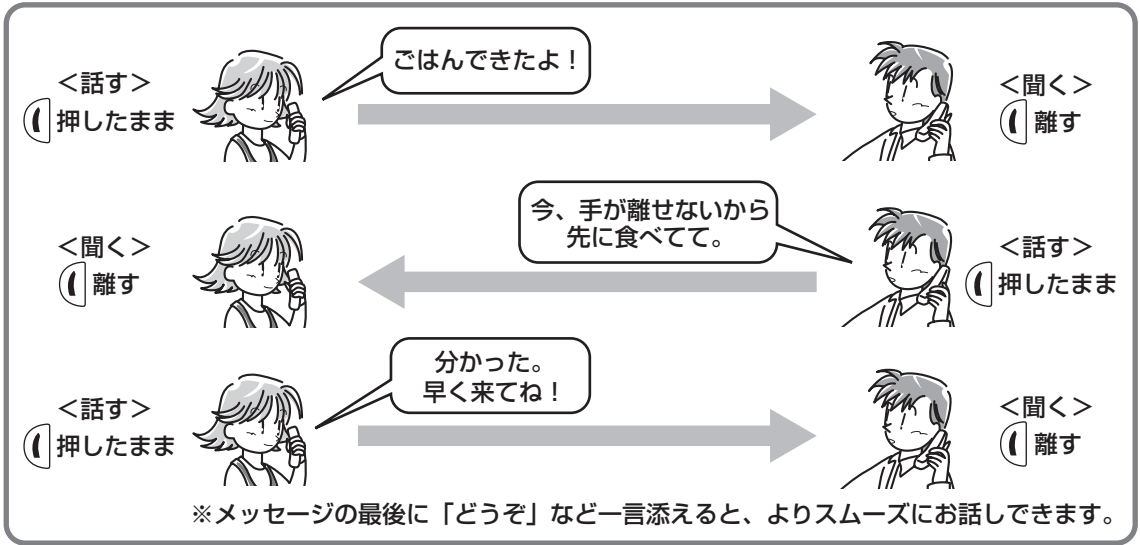
- 子機のスピーカーホンでの内線通話はできません。(📞 マークは表示されますが、通話はできません。)
- 内線通話の着信音色を変えることはできません。
- 親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさに鳴ります。



子機と子機の間でお話する（トランシーバー方式内線通話）

UX-V503CWをお使いのとき、またはUX-V503CL/UX-V503CWにトランシーバー方式の内線通話に対応している子機（CJ-KS50）を増設してお使いのときは、子機と子機で通話をすることができます。

トランシーバー方式とは、一人ずつ交互に通話する方式です。同時にはお話しできません（一方で話している間は、相手の声は聞こえません）。相手側にメッセージを伝えるときは、側面の を押したまま話し、伝え終わったら を離します。下図のように、交互にこの操作をくり返して通話します。



操作のしかた

1 子機

子機を充電器から取って 内線/クリア を押し、「ナイセン:」と表示されたら呼び出したい子機の内線番号を押す

例: 子機2を呼び出したとき

- 通話ボタンが点滅します。
- 呼び出した子機が応答するまで「プププ…」と鳴ります。

■呼び出された子機の操作■

着信音が鳴ったら充電器から取って を押す

- 「ププッ ププッ」と鳴ります。

2 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら（「ププッ ププッ」と鳴る）側面の を押し続けながらメッセージを伝える

- 「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
- 相手の方の声は聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが聞こえる

- こちらの声は相手の方へは聞こえません。

次ページへ→

子機と子機の間でお話する（トランシーバー方式内線通話）

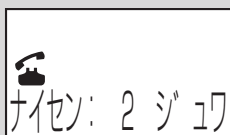
→つづき

3  子機メッセージが
終わったら**①を離す**

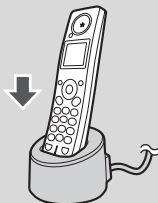
- 「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップ」

4  子機相手の方が **①** を
押したら
（「プップッ プップ」
と鳴らなくなります）**お話しを聞く**

- こちらの声は相手の方へは聞こえません。

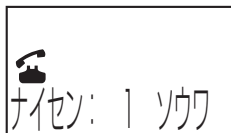


5 手順2～4をくり返してお話する

6  子機通話をやめるときは
**子機を充電器に
戻す**

- どちらの子機からでも通話をやめることができます。
- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■呼び出された子機の操作■

相手の方がお話しを終えて **①** を離したら
（「プップッ プップ」）と鳴る）側面の **①** を
押し続けながら
メッセージを
伝える

- 「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
- 相手の方の声は聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが終わったら

①を離す

- 「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップ」

 お知らせ

- 相手の方のお話しを聞いているときは、トランシーバーボタンを押さないでください。通話が切れることがあります。
- 子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。
- お話し中に電話がかかってきたときは
 - ・呼び出し中や両者がトランシーバーボタンを押していないとき
 - …内線通話が切れ、外線着信状態になります。
 - 通話ボタンを押すと電話に出ることができます。
 - ・どちらかがトランシーバーボタンを押してお話しているとき
 - …お話しを聞いている方の受話口から着信音が聞こえます。
 - 相手がメッセージを伝え終えてトランシーバーボタンを離したあと、切ボタンを押し、外線着信状態になってから通話ボタンを押すと、電話に出ることができます。
- 増設子機CJ-KS4/CJ-KS7をご使用のときは、子機間ひと声通知ができます。（P.4-52ページ）



電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

親機から子機へ電話をとりつぐ

親機で受けた電話を子機へとりつぐときの操作です。

操作のしかた

1 親機

通話中に
内線/保留 を押し、
子機の内線番号を
押す

内線/保留 ▶ (例) 子機1のとき

- 相手の方には、保留メロディーが流れます。
- 子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
- 子機を増設しているときは、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。(内線シフトコール)

2 子機

着信音が鳴ったら
充電器から取って
通話 を押す

- 通話ボタンが点灯します。

3 親機

電話をとりつぐこと
を伝えて
受話器を戻す

- 受話器を置くと、子機で外の相手の方とお話できます。

■ 呼び出しても子機が出ないときは

次の（操作方法1）または（操作方法2）の操作をします。

（操作方法1）

① を押す
(呼び出しをやめて、保留になります。)

② もう一度 を押す
(相手の方との通話に戻ります。)

（操作方法2）

① 受話器を戻す
② 再度、受話器を取る
(相手の方との通話に戻ります。)

子機から親機へ電話をとりつぐ

外の相手の方からかかってきた電話を子機から親機にとりつぐときの操作です。

操作のしかた

1 子機

通話中に
内線/クリア を押し、
親機の内線番号
() を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 相手の方には、保留メロディーが流れます。

2 親機

着信音が鳴ったら
受話器を取る

- 子機とお話できます。

3 子機

電話をとりつぐこ
とを伝えて充電器
に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
- このあと、親機で外の相手の方とお話できます。

■ 呼び出しても親機が出ないときは

- ① を押す
(呼び出しをやめて、保留になります。)
- ② もう一度 を押す
(相手の方との通話に戻ります。)

📞 お知らせ

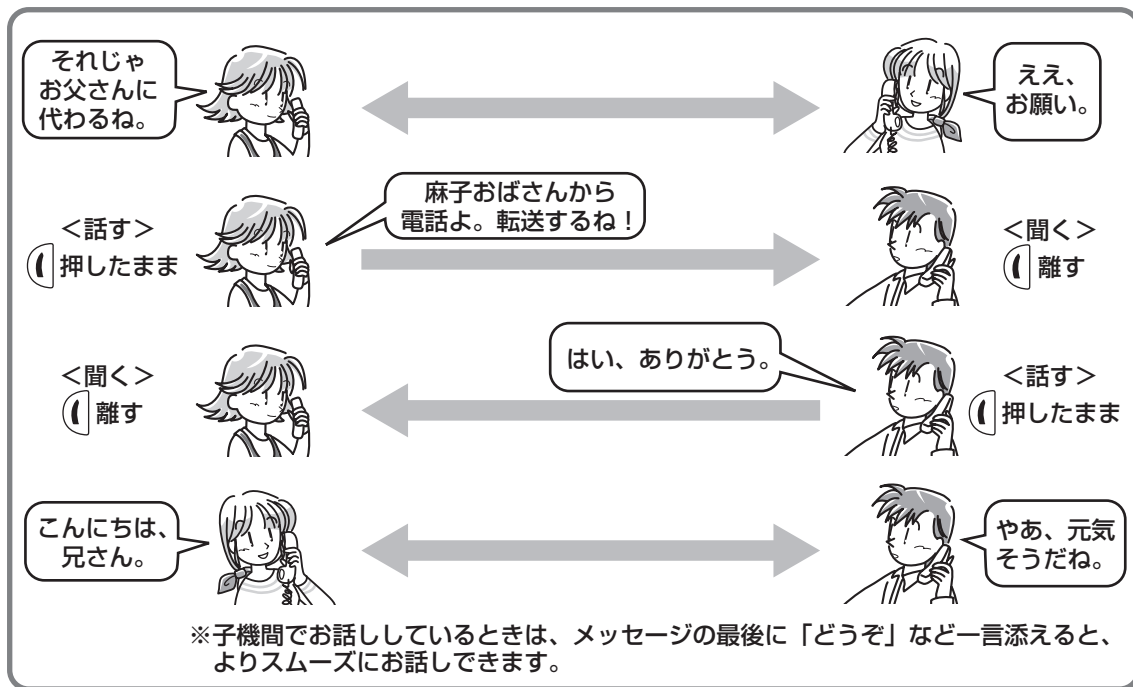
- 親機の着信音量を「切」に設定していても、内線通話の着信音は最小の大きさで鳴ります。
- とりつぎ転送するときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。
- 子機の着信音量を「キリ」に設定していても、内線通話の着信音は「ショウ」の大きさで鳴ります。



子機から子機へ電話をとりつぐ（トランシーバー方式転送）

UX-V503CWをお使いのとき、またはUX-V503CL/UX-V503CWにトランシーバー方式の内線通話に対応している子機（CJ-KS50）を増設してお使いのときは、子機にかかってきた電話を他の子機へトランシーバー方式でお話ししてから転送することができます。

トランシーバー方式とは、一人ずつ交互に通話する方式です。同時にはお話しできません（一方で話している間は、相手の声は聞こえません）。相手側にメッセージを伝えるときは、側面の **(1)** を押したまま話し、**伝え終わったら (1) を離します**。下図のように、交互にこの操作をくり返して通話します。



操作のしかた

1



子機で外線通話中に **内線/クリア** を押し、呼び出した子機の内線番号を押す

- 通話ボタンが点滅します。
- 呼び出した子機が応答するまで「プププ…」と鳴ります。
- 外線通話中の相手の方には保留メロディーが流れます。

■呼び出された子機の操作■

着信音が鳴ったら **充電器から取って** **通話** を押す



- 「ププッ ププッ」と鳴ります。

次ページへ→



子機から子機へ電話をとりつぐ（トランシーバー方式転送）

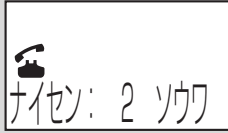
→つづき

2 子機

呼び出した子機の方が電話に出たら
（「プップッ プップッ」と鳴る）

側面の を
押し続けながら
電話をとりつぐ
ことを伝える

例：子機2を呼び出した
とき



- 「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
- 相手の方の声は聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが
聞こえる



- こちらの声は相手の方へは聞こえません。

3 子機

メッセージが
終わったら

を離す

- 「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップッ」と鳴ります。

■呼び出された子機の操作■

相手の方がお話しを終えて を離したら
（「プップッ プップッ」と鳴る）

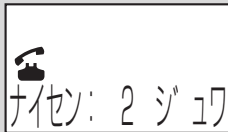
側面の を押し続けながら
メッセージを伝える

- 「ピポッ」と鳴り、押し続けている間、メッセージを伝えることができます。
- 相手の方の声は聞こえません。

4 子機

相手の方が を
押したら
（「プップッ プップッ」
と鳴らなくなります）

お話しを聞く



- こちらの声は相手の方へは聞こえません。

■呼び出された子機の操作■

メッセージが終わったら を離す

- 「ピポッ」と鳴ったあと、「プップッ プップッ」と鳴ります。

5 さらに、子機間でお話しするときは、 手順2～4をくり返す

6 子機

子機を充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■呼び出された子機の操作■

保留メロディーが聞こえたら

または を押す

- 外線の相手の方と通話できます。

■ 呼び出している子機が出ないときは

を押すと、呼び出しをやめて保留になります。このあと または を押すと外線の相手の方との通話に戻ります。

お知らせ

- 子機間でお話し中に相手の方のお話しを聞いているときは、トランシーバーボタンを押さないでください。通話が切れることがあります。
- 子機間でのトランシーバー方式内線通話は親機を経由して行います。子機と子機が近くても、親機から離れすぎると通話できなくなります。
- 増設子機 CJ-KS4 / CJ-KS7 をご使用のときは、子機間ひと声転送ができます。（☎4-53ページ）



電話を自分ひとりでとりつぐ (ひとり転送)

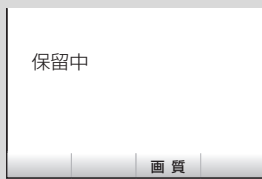




かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。また、子機を増設されたときは、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

親機から子機へとりつぐ

操作のしかた

- 1  親機
親機で通話中に
内線/保留
 を押し、
受話器を戻す



- 2  子機
充電器から取って
 を押す





- 通話ボタンが点灯して相手の方とお話できます

2
電話帳
電話番号
留守番

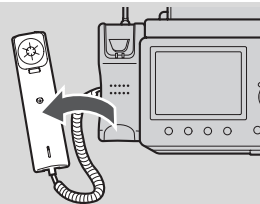
子機から親機へとりつぐ

操作のしかた

- 1  子機
子機で通話中に
内線/クリア
 を押し、
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

- 2  親機
着信音が鳴ったら
受話器を取る





- 相手の方とお話できます。



電話を自分ひとりでとりつぐ (ひとり転送)

子機から他の子機へとりつぐ

操作のしかた

- 1  子機
子機で通話中に
内線/クリア
 を押し、
充電器に戻す

- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

- 2  他の子機
充電器から取って
 を押す

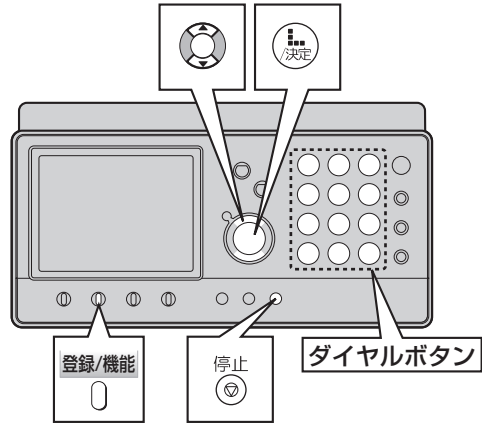
- 充電器に置いていないときは、そのまま通話ボタンを押します。
- クイック通話を「ON」にしているときも通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯して相手の方とお話できます。



親機の電話帳に登録する

親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。1人につき2つの番号を登録できるので、自宅と携帯電話の番号を両方登録したいときに便利です。また、相手の方のメールアドレスを登録することもできます。



操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 **登録/機能** を押し、
ダイヤルボタンで「電話帳」を選ぶ

登録/機能
③音の設定
④着信記録
⑤コピー設定
⑥画面設定
⑦電話帳
☞で選択、[L/決定]で決定
写真メニュー 戻る

2 **決定** を押し、「登録」を選ぶ

電話帳
①登録
②子機転送
③SDカードから取り込む
☞で選択、[L/決定]で決定
戻る

3 **決定** を押し

< 名前 > [漢/かな]
>
[ダイヤル]で文字入力、[取消]で文字切替 取消

4 名前を入れる
(最大全角10文字 / 半角20文字)

< 名前 > [漢/かな]
池田 悟
>
[ダイヤル]で文字入力、[取消]で文字切替 取消

- 名前の入力を省略するときは、L/決定ボタンを押して手順7に進みます。名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号(第1番号)が表示されます。また、メールアドレスのみ登録すると名前のところにメールアドレスが表示されます。

5 **決定** を押し

< 読み > 半[かな]
イダ サシ
>
[ダイヤル]で文字入力、[取消]で文字切替 取消

- 「読み」に変更があれば修正します。「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
- 名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

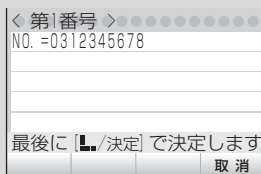
6 「読み」が正しければ **決定** を押し

< 第1番号 > NO. =
相手番号を入力してください
取消

次ページへ→

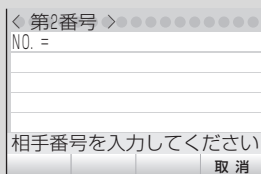
■ 文字を入力するときは (☎2-26~2-30ページ)

7 電話番号（第1番号）を入れる（最大32ケタ）

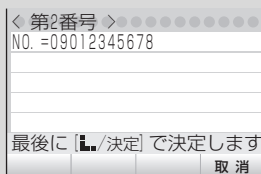


- 番号を入れまちがえたときは、取消ボタンを押すと、1つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。
- メールアドレスを登録する場合は、第1番号の入力は省略できます。省略するときは、手順10に進んでください。（メールアドレスを入れない場合、第1番号の入力は省略できません。）
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前が表示させるときや着信鳴り分けをさせるときは、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。

8 を押す

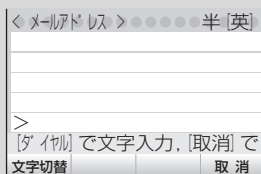


9 電話番号（第2番号）を入れる（最大32ケタ）



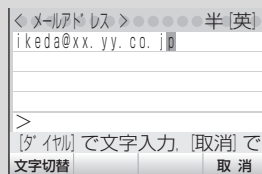
- 第2番号の入力は省略できます。省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください。

10 を押す



- ナンバー・ディスプレイの名前表示とは（☎6-2ページ）
- ナンバー・ディスプレイの着信音鳴り分けとは（☎6-20～6-22ページ）

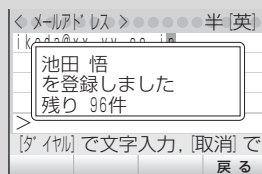
11 メールアドレスを入れる（最大半角50文字）



- 第1番号を登録している場合、メールアドレスの入力は省略できます。省略するときは、この手順をとばして手順12に進んでください。（メールアドレスを入れない場合、第1番号の入力は省略できません。）
- 文字の入力モードが半[英]のとき を押すとサイト（番組）やメールアドレスとしてよく使われる文字が表示されます。
- を押して、文字を選んだあと、L/決定ボタンを押します。

を押すたびに切り替わります
「.co.jp」「.ne.jp」「.or.jp」
「.com」「@pipopa.ne.jp」「www.」

12 を押す



- 「登録しました」と音声でお知らせします。
- 続けて登録するときは手順3～12をくり返し行ってください。

13 を押す

- 待受画面に戻ります。



親機の電話帳に登録する

■途中でやめるときは

停止 を押します。

■1つ前に戻るときは

戻る または 取消 を押します。

■先に電話帳ボタンを押してから登録するとき

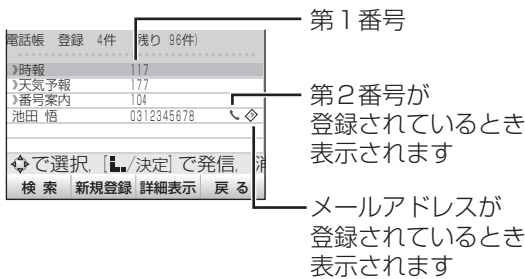
- 1 を押す
- 2 一覧表示 を押す
- 3 新規登録 を押す
- 4 2-20～2-21 ページの手順4から手順13の操作をする

■登録した内容を確認するとき

- 1 を押す
- 2 一覧表示 を押す
- 3 で確認したい相手の方を選んだあと、
詳細表示 を押す
- 4 確認後、停止 を押す

■電話番号リスト画面の見かた

一覧表示 と押すと、登録されている番号の一覧が表示されます



■親機の電話帳の内容をプリントするとき

- 1 を押す
- 2 一覧表示 を押す
- 3 コピー/印刷 を押す

■親機の電話帳の内容を子機にも登録するとき (☎ 2-43ページ)

■ポーズについて

(再ダイヤル) ボタンを押すと、約3秒間の待ち時間(ポーズ)ができます。続けて入力することもできます。

ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときだけにしてください。

それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかかからないことがあります。また、子機に電話帳を転送したとき、子機でナンバー・ディスプレイを利用していても番号が表示されません。ディスプレイには- (ハイフン) で表示されます。

👉 お知らせ

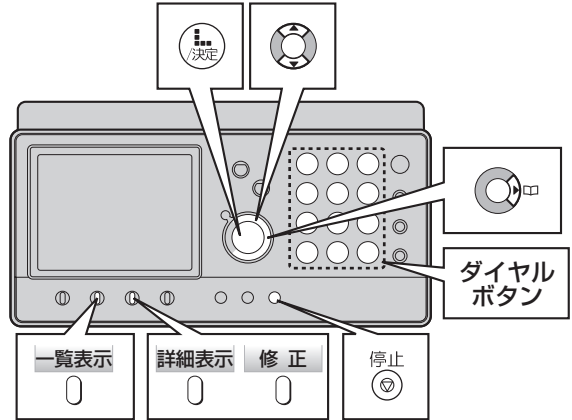
●親機の電話帳には、あらかじめ次の3件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

》時報	117
》天気予報	177
》番号案内	104

- まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号リストの詳細表示をして、確かめてください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき (☎ 6-2ページ) や着信鳴り分けをさせているとき (☎ 6-20ページ) は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
- 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号か、メールアドレスが名前として登録されます。
- 親機の電話帳の内容をプリントしているときは、子機で電話をかけたり、受けたりすることはできません。
- 電話帳に登録した電話番号のうち、よく利用する番号を親機のダイヤルボタンに登録し、より少ない手順で電話をかけたりファクスを送ることができます。(見てからダイヤル ☎ 2-45～2-47ページ)
- 見てからダイヤル (☎ 2-45～2-47ページ) では、電話帳に登録した名前の先頭から全角5文字(半角10文字)分だけが表示されます。見てからダイヤルに登録する相手の方は、電話帳の名前の文字数を全角5文字(半角10文字)以内で登録することをおすすめします。

親機の電話帳を修正する

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。

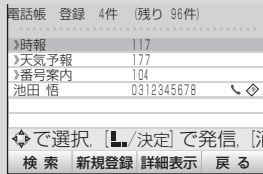


操作のしかた

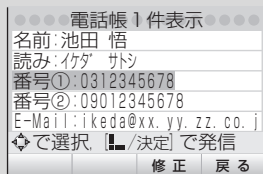
1 を押す

2 を押す

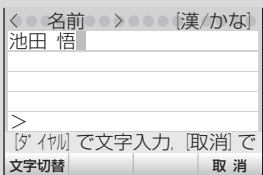
3 で修正する
相手の方を選ぶ



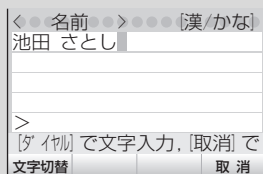
4 を押す



5 を押す



6 名前を入れ直す



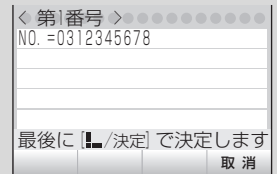
● 名前を修正しないときは手順7に進んでください。

7 を押す

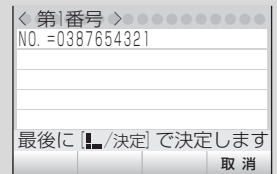
8 「読み」を入れ直す

● 「読み」を修正しないときは手順9に進んでください。

9 を押す



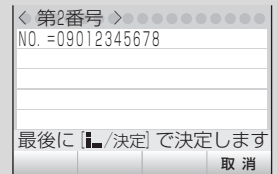
10 電話番号 (第1番号) を入れ直す



● 取消ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。

● 第1番号を修正しないときは手順11に進んでください。

11 を押す



次ページへ→

■ 文字を入力するときは (☎ 2-26~2-30ページ)



親機の電話帳に登録する

→つづき

12 電話番号（第2番号）を入れ直す

< 第2番号 >
 NO. =09087654321

最後に [L/決定] で決定します
 取消

●第2番号を修正しないときは手順13に進んでください。

13 を押す

< メールアドレス > 半 [英]
 ikeda@xx.yy.co.jp

>
 [ダイヤル] で文字入力, [取消] で文字切替
 取消

■途中でやめるときは

を押します。

■一つ前に戻るときは

または を押します。

■文字を入力するときは (☎ 2-26~2-30ページ)

14 メール宛先を入れ直す

< メールアドレス > 半 [英]
 ikeda_@xx.yy.co.jp

>
 [ダイヤル] で文字入力, [取消] で文字切替
 取消

●メールの宛先を修正しないときは手順15に進んでください。

15 を押す

電話帳 登録 4件 (残り 96件)

池田 さとし
 を登録しました
 残り 96件

で選択, [L/決定] で発信, [消] 検索 新規登録 詳細表示 戻る

●「登録しました」と音声でお知らせします。

16 を押す

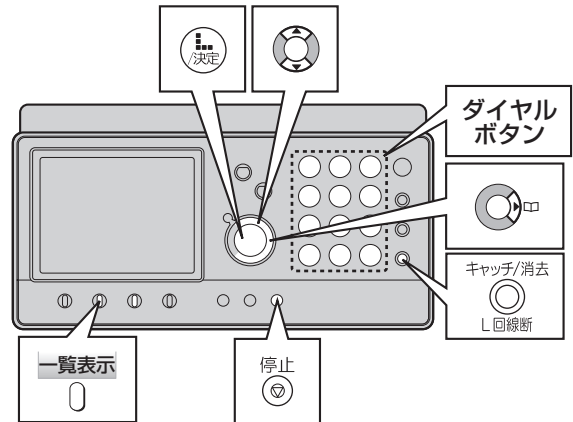
●待受画面に戻ります。

お知らせ

●親機の電話帳の内容を修正すると、見てからダイヤル (☎ 2-45~2-47ページ) の登録内容も自動的に更新されます。

親機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を1件ずつ消去することができます。



2

電話帳
留守番

親機の電話帳に登録する

操作のしかた

1 を押す

2 を押す

3 で消去する
相手の方を選ぶ

電話帳 登録 4件 (残り 96件)
▶ 時報 117
▶ 天気予報 177
▶ 番号案内 104
池田 悟 0312345678
◀で選択 [L/決定]で発信 [消]
検索 新規登録 詳細表示 戻る

4 を押す
キャンセル/消去
L回線断

5 もう一度、

キャンセル/消去



を押す

- 「消去しました」と音声でお知らせします。

6 停止



を押す

- 待受画面に戻ります。

■ 途中でやめるときは
 を押します。

■ 親機の電話帳をすべて消去するとき
(☎ 8-3ページ)

■ 一つ前に戻るときは
 を押します。

お知らせ

- 親機の電話帳の内容を消去すると、見てからダイヤル (☎ 2-45ページ) の登録内容も自動的に消去されます。

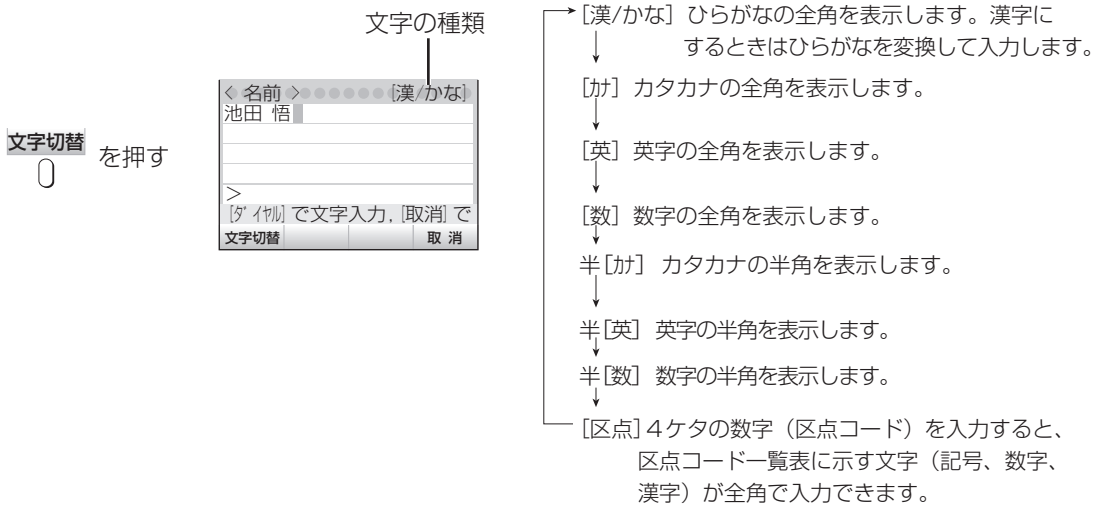


親機で文字を入力する

電話帳に名前を登録するときなど、文字を入力する場合は、ダイヤルボタンを使って入力します。
(☎2-20ページなど)
親機では文字切替ボタンで文字の種類を替えてダイヤルボタンで入力します。

文字の種類（入力モード）を選ぶ

1 文字切替ボタンを押すたびに文字の種類が切り替わる



2 文字の種類を選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ

[漢/かな]（ひらがな）モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表のひらがなが全角表示されます。漢字に
するときには、ひらがなを変換して入力します。

(例) ①を押した場合

押すたびに表示される文字が切り替わります。
あ → い → う → え → お → あ → い → う → え → お

[カナ]、[英]、半[カナ]、半[英] モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表の文字が全角または半角で入力できます。

[数]、半[数] モード

ダイヤルボタンに表示されている数字が全角または半角で入力できます。

[区点] モード

区点コード一覧表を見ながら、ダイヤルボタンで4ケタの数字を入れます。

(例) 区点コード：4567の「翼」を入れる



■ 親機の文字入力一覧表を見るときは
(☎2-27ページ)

■ 漢字を入力するときには
(☎2-28ページ)

■ 区点コード一覧表を使うときは
(☎8-12～8-17ページ)



親機で文字を入力する

文字入力一覧表

入力モード 入力ボタン	全 角				半 角			区点 コード [区点]
	ひらがな [漢/かな]	カタカナ [か]	英 字 [英]	数字 [数]	カタカナ (※1) 半[か]	英字(※2) 半[英]	数字 半[数]	
①あ @./-_	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	@ . / - _	1	アイウオ アイウオ	@ ./ - _	1	「区点 コード 一覧表」 (※3) 参照
②か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABC a b c	2	カキケコ	abc ABC	2	
③さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEF d e f	3	サシセソ	def DEF	3	
④た GHI	たちつてと っ	タチツテト ッ	GHI g h i	4	タチツト ッ	ghi GHI	4	
⑤な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKL j k l	5	ナニネノ	jkl JKL	5	
⑥は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNO m n o	6	ハヒフホ	mno MNO	6	
⑦ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRS p q r s	7	マミムエ	pqrs PQRS	7	
⑧や TUV	やゆよ やゆよ	ヤユヨ ヤユヨ	TUV t u v	8	ヤユ ヤユ	tuv TUV	8	
⑨ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZ w x y z	9	ラリルロ	wxyz WXYZ	9	
⑩わ 再至▶	わをん □ (スペース) □ □	ワヲン □ (スペース) □ □	□ : ! ? & □ □ □ □ □ □ (スペース)	0	ワヲン □ (スペース)	※4	0	
★ トーン	濁点/半濁点		無効	*	濁点/ 半濁点	※5	*	無効
#	※6			#	※6		#	※6
	カーソル左右移動							
	メール本文入力中、カーソル上下移動（[漢/かな] モード時は、かな漢字変換も兼用）							
変換 0 / 音訓 0	かな漢字変換	無効（非表示）						
取消 0	カーソル上の1文字を消去							
文字切替 0	文字の種類の手切り替え（「Lモード」利用時のみ絵文字に切り替えることができます。） ※7							

- (※1) : 半角カタカナは、電話帳の登録時や発信元名、「Lモード」で使います。
(※2) : 電話帳や発信元名の登録時は、半角の小文字は使えません。
(※3) : 区点コードについては8-12～8-17ページをごらんください。
(※4) : 電話帳の登録時と発信元名登録時は、.:! ? & / () [] □ (半角スペース) の順に表示されます。
メールの宛先や題名、本文入力中は、
.:! ? & ¥ \$ % + = | " ^ () < > [] { } @ ./ - _ □ (半角スペース) の順に表示されます。
(※5) : 定型文が入力できます。（「.co.jp」「.ne.jp」「.or.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」「www.」を選んだあと を押して入力します。
(※6) : Lモードの送信メールの本文入力時のみ ←(改行) します。改行はすべて全角1文字になります。
(※7) : 絵文字については、5-9ページをご覧ください。



ひらがな／漢字を入力する

「池田」と入力するときは次のように入力します。

操作のしかた

1 文字切替 で文字の種類 [漢/かな] を選ぶ

- はじめ、電話帳に登録するときや発信元名に登録するときは、[漢/かな]になっています。(かなは一度に10文字まで入力できます。)

2 を2回押す

- くり返して押すと
あ→い→う→え→お→あ→い→う→え→お
↑
の順に切り替わります。

3 を4回押す

4 を1回押す

5 を押す

6 を押して「池田」を選ぶ

- ボタンを押すたびに切り替わります。
 で選ぶこともできます。

7 を押す

- 文字を採用します。
- L/決定ボタンで採用することもできます。
- 続けて文字を入力するときは手順1～7をくり返し操作します。

■ 文字の種類を選ぶときは (☞ 2-26ページ)

■ 入力したい漢字に変換できないときは

を押すと、入力したひらがなが区切りごとに漢字に変換されます。音訓の読みにしたがって変換されますので、 では呼び出せない漢字に変換することもできます。

変換の区切りを変えたいときは、ひらがなを一度漢字に変換したあと、 を押して変換する部分(青色のカーソルがかかっているところ)を変更します。

■ ひらがなを入力するときは

- ① 手順1～5の操作を行う
- ② を押す

お知らせ

- 変換して10文字以上になった文字は を押すまで10文字までしか表示されません。



親機で文字を入力する

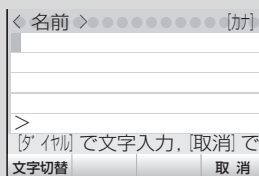
カタカナ／英字／数字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。

操作のしかた

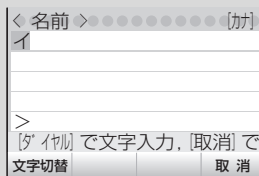
受話器を置いたまま操作します。

1 文字切替
0
種類【カナ】を
選ぶ



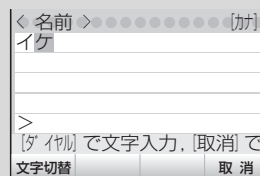
●はじめ、電話帳に登録するときや発信元名を登録するときは、[漢/かな]になっています。

2 1あ
を2回押す

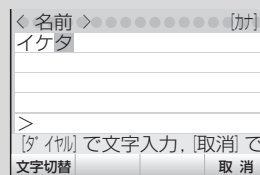


●くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ
↑
の順に切り替わります。

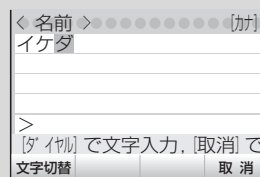
3 2か
ABC
を4回押す



4 4た
GHI
を1回押す



5 *
を1回押す



2
電話帳
電話番号
留守番

親機で文字を入力する

- 文字の種類を選ぶときは (☎ 2-26ページ)
- カタカナ (半角)、英字 (全角/半角)、数字 (全角/半角) を入力するときは
手順1で入力したい文字の種類を選んで、手順2以降の操作をしてください。

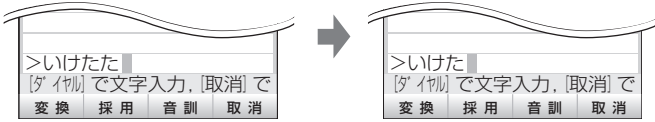


文字を修正する

■ 文字を消すには

カーソルの1つ前が消えます。(カーソルが文字の上にあるときは、その文字が消えます。)

- ①  を押す



■ 文字を入れ直すには

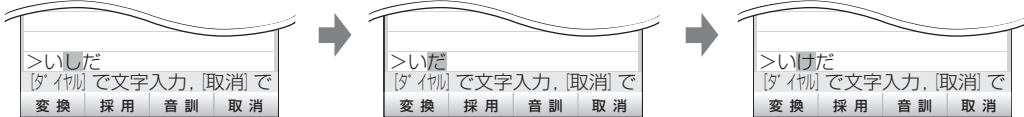
- ① 訂正したい文字を



- ②  を押して

文字を消す

- ③ ダイヤルボタンで正しい文字を入れる




文字の入力方法

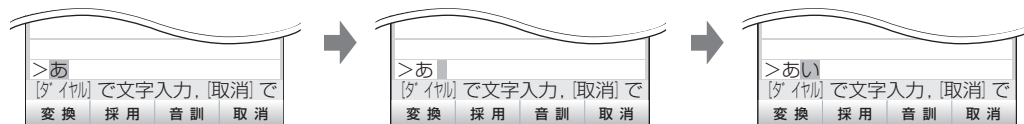
■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

(例) 「あい」を入れる

- ①  を押す 「あ」


- ②  を押す

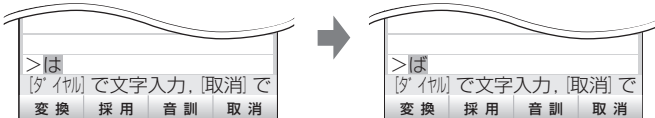
- ③  を2回押す 「い」



■ 濁点 (ゝ) や半濁点 (゜) をつけるときは

- ① 濁点や半濁点をつけたい文字を入れる


- ②  を押す (くり返し押すと (ゝ) と (゜) が切り替わります。)



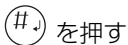
■ スペースを入力するときは






を必要な分だけ押します。1回押せば半角分のスペースが入ります。

([漢/かな] モードのときは採用ボタンを押して、文字を採用してから  を必要な分だけ押してください。)

■ 改行するときは ([Lモード] でメールの本文を作成中のみ)



を押す
([漢/かな] モードのときは  を押して、文字を採用してから  を押してください。)

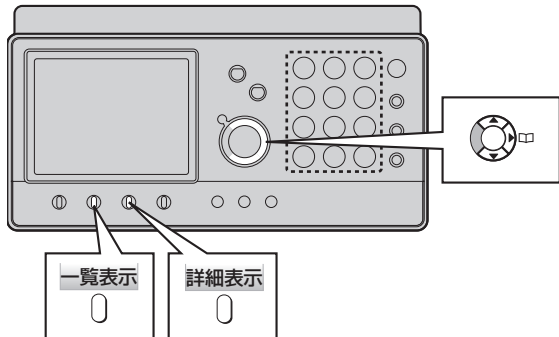
([数] または半 [数] モードのときは、 を押しても改行になりません。)

親機の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。

電話帳は、「読み」の頭文字をもとに数字（0～9）→英字（A～Z）→50音順に並べられています。



2

電話帳
留守番

親機の電話帳で電話をかける

操作のしかた

受話器を置いたまま操作します。

1 受話器を押す

2 一覧表示 を押し、 受話器で相手の方 を選ぶ

電話帳 登録 4件 (残り 98件)
→時報 117
→天気予報 177
→番号案内 104
池田 悟 0312345678

☑で選択 [L/決定]で発信 [R]検索 新規登録 詳細表示 戻る

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

■途中でやめるときは

相手の方を選んでいるときは を押し、^{停止} 通話中は受話器を戻します。

■受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは（184や186などをつけて電話をかけるとき）

① 受話器を取る
（184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは、このあとにダイヤルします。親機が発信中のときは、②～⑥の操作を行うことができません。少し待ってから②～⑥の操作を行ってください。）

② と押し、 で相手の方を選ぶ
第1番号に電話をかけるときは、このあと を押してかけることができます。

③ を押し、 で電話番号
（第1番号または第2番号）を選ぶ

④ を押し

⑤ 相手の方とお話する

⑥ 通話が終わったら受話器を戻す

3 詳細表示 を押し、 受話器で電話番号 （第1番号または 第2番号）を選ぶ

電話帳 1件表示
名前: 池田 悟
読み: イケダ サトシ
番号①: 0312345678
番号②: 09012345678
E-Mail: ikeda@xx.yy.z.co.jp
☑で選択 [L/決定]で発信
修正 戻る

●第1番号に電話をかけるときは、手順2のあと、受話器を取ってかけることができます。

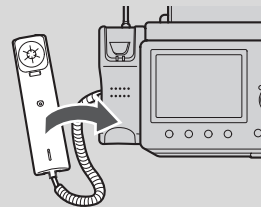
4 受話器を取る

池田 悟 0312345678 発信中
伝言メモ 登録/機能 電話帳登録 カレンダー

●選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

5 相手の方とお話する

6 通話が終わったら 受話器を戻す



お知らせ

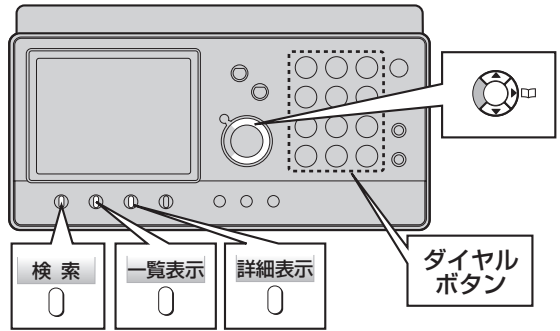
- 電話帳から自動的に電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。（「184」などのダイヤルした番号では働きます。）



親機の電話帳で電話をかける

相手の方の名前で 検索して電話をかける

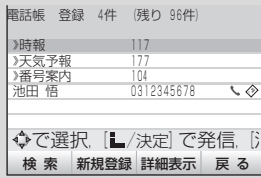
名前の「読み」を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。



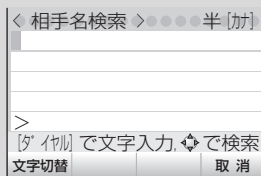
操作のしかた 受話器を置いたまま操作します。

1 を押す

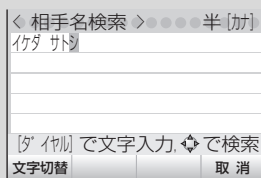
2 を押す



3 を押す

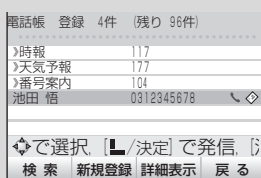


4 **ダイヤルボタンで
名前の「読み」を
入力する**



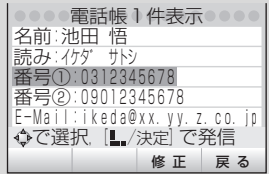
● 「読み」の頭文字や途中までの文字でも探すことができます。

5 を押す



6 で相手の方を
選ぶ

7 **詳細表示**
を押し、
 **で電話番号
(第1番号または
第2番号) を選ぶ**



● 第1番号に電話をかけるときは、手順6のあと、受話器を取ってかけることもできます。

8 **受話器を取る**



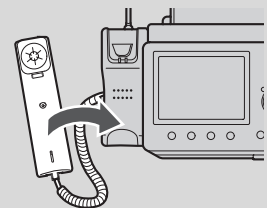
伝言メモ 登録/機能 電話帳登録 カレンダー

● 選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。

9 **相手の方とお話し
する**



10 **通話が終わったら
受話器を戻す**



■ 名前の「読み」を入力するときは
(☎ 2-26~2-30ページ)

■ 途中でやめるときは

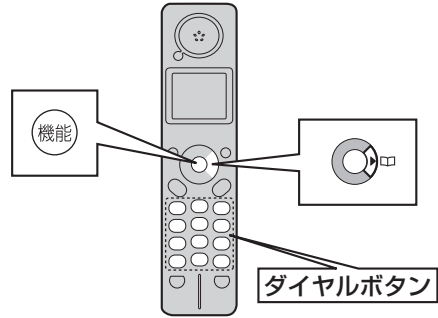
相手の方を選んでいるときは を押します。
通話中は受話器を戻します。

子機の電話帳に登録する

子機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。

子機では、1台につき最大100人分の番号を登録できます。



操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 を押す

ナマエ?

2 名前を入れる (最大12文字)


イケダ サトシ

- 名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順4に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号が表示されます。(12ケタまで)
- 内線/クリア/保留ボタンを2秒以上押すと、すべての文字が消えます。

3 を押す

ハンゴウ?


■ 途中でやめるときは

 を押します。

■ 名前を入力するときは (☎ 2-37~2-40ページ)

■ 子機で登録した電話帳の内容を親機にも登録するとき (☎ 2-44ページ)

■ ポーズについて

 (再ダイヤル) ボタンを押すと、約3秒間の待ち時間(ポーズ)ができます。続けて入力することもできます。

ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときだけにしてください。

それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

ディスプレイには_ (アンダーバー) で表示されます。

4 電話番号を入れる (最大16ケタ)

0312345678

- 番号を入力せずに、電話帳に登録することはできません。
- 番号を入れまちがえたときは内線/クリア/保留ボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。
- 内線/クリア/保留ボタンを2秒以上押すと、すべての番号が消えます。
- 「ハイフン (-)」や「スペース」は入力できません。

5 を押す

ノリ 95

- 「ピー」と鳴って残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。
- 続けて登録するときには手順1~5をくり返し行ってください。



お知らせ

- 着信記録から電話番号を選び、電話帳に登録することができます。(☎ 6-19ページ)
- 子機の電話帳にはあらかじめ、3人分の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは97人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫ジホウ	117
≫テンキヨホウ	177
≫バンゴウアンナイ	104

- まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき(☎ 6-2ページ)や着信鳴り分けをさせているとき(☎ 6-22ページ)は、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示(☎ 6-2ページ)や着信鳴り分け(☎ 6-22ページ)が動かなくなります。
- 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号が名前として登録されます。
- 子機の電話帳の番号を見てからダイヤルに登録することはできません。




子機の電話帳を修正する

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1  **で相手の方を
選ぶ**

2  **を2回押す**

●現在登録されている番号が表示されます。


3 **電話番号を
入れ直す**

- 内線/クリア/保留ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
- 内線/クリア/保留ボタンを2秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。

4  **を押す**

●「ピー」と鳴って残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■途中でやめるときは

 を押します。

2

電話帳
留守番
電話

子機の電話帳に登録する

お知らせ

- 子機に登録した名前を修正することはできません。名前をまちがえて登録したときは、電話帳から消去したあと、もう一度登録し直してください。



子機の電話帳を消去する

登録した電話帳の内容を1件ずつ消去することができます。電話帳の内容を一度にすべて消去することはできません。

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 **で相手の方を
選ぶ**

2 **を押し、
 で「ショウ
キョ」を選ぶ**

3 **を2回押す**

● 「ピー」と鳴り消去が完了します。残りの登録可能件数が表示され、待受画面に戻ります。

■途中でやめるときは

を押します。

子機で文字を入力する

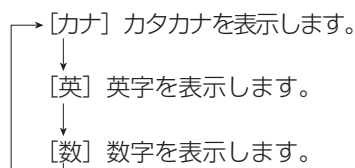
子機ではカナ/キャッチボタンで文字の種類を替えてダイヤルボタンで入力します。

文字の種類（入力モード）を選ぶ

1 カナ/キャッチボタンを押すたびに文字の種類が切り替わる

- はじめは、カナ入力モードになっています。ボタンを押すごとに、下記のように切り替わります。

カナ/キャッチ
○ を押す



2 文字の種類を選んだあと、ダイヤルボタンを押して文字を選ぶ

[カナ] モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表のカタカナが表示されます。

[英] モード

ダイヤルボタンを押した回数により、文字入力一覧表の英字が表示されます。

[数] モード

ダイヤルボタンに表示されている数字が入力できます。

■ 子機の文字一覧表を見る (☎ 2-38ページ)

2

電話帳
電話
留守番

子機で文字を入力する



文字入力一覧表

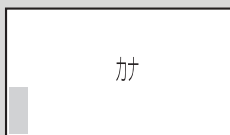
入力モード 入力ボタン	カタカナ [カナ]	英字 [英]	数字 [数]
①ア	アイエ アイエ	無効	1
②カ ABC	カケコ	ABC abc	2
③サ DEF	サスセ	DEF def	3
④タ GHI	タツト ッ	GHI ghi	4
⑤ナ JKL	ナニネ	JKL jkl	5
⑥ハ MNO	ハヒフホ	MNO mno	6
⑦マ PQRS	マミムモ	PQRS pqrs	7
⑧ヤ TUV	ヤユヨ ヤユヨ	TUV tuv	8
⑨ラ WXYZ	ラリルロ	WXYZ wxyz	9
⑩ワ 記号	ワヲン日 □ (ス^ -ス)	日□ (ス^ -ス) / [] : . . ! () & ? @	0
トーン ⑩*	無効		*
⑩#	無効		#
スピーカホン ⑩ 発信/PA	濁点/半濁点	無効	
⑩	カーソル左右移動		
内線/クリア ⑩ 保留	カーソルの1文字を消去 (2秒以上押し続けると、すべての文字を消去)		
カナ/ キャッチ ⑩	文字の種類の切り替え		

文字を入力する

「イケダ」と入力するときは次のように入力します。
ディスプレイは電話帳に登録する（☎2-33ページ）ときのものです。

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。


1 カナ/キャッチ で文字の種類
を選ぶ

- はじめは「カナ入力モード」になっています。


2 1ア を2回押す

- くり返して押すと
ア→イ→ウ→エ→オ→ア→イ→ウ→エ→オ
の順に切り替わります。

3 2カ を4回押す

- 同じボタンを使って入力する文字（例：「ア」と「エ」、「ワ」と「ー（長音）」などを続けて入力するときは1文字目を入力したあと、を押して、カーソルを移動してから2文字目を入力します。

4 4タ を押す

- を押してカーソルを移動して、文字を入力すると、その間にスペースが入ります。

5 スピーカホン を押す6 機能 を押す

- 文字入力終了します。

■ 文字の種類を選ぶときは（☎2-37ページ）

■ 英字、数字を入力するときは

手順1で入力したい文字の種類を選んで、手順2以降の操作をしてください。



文字を修正する

■ 文字を消すには

- ① 訂正したい文字を で選ぶ
- ② 内線/クリア 保留 を押す



■ 文字を入れ直すには

- ① 訂正したい文字を で選ぶ
- ② 内線/クリア 保留 を押して文字を消す
- ③ ダイヤルボタンで正しい文字を選んで入れる
(文字の種類を替えるときは、カナ! キャッチ を押す)



2

電話帳
電話

留守番

子機で文字を入力する

文字の入力方法

■ 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力するときは

必ず を押してカーソルを移動させてから入力してください。

(例) 「アイ」と入れる

- ① を押す「ア」
- ② を押す
- ③ を2回押す



■ 濁点 (゛) や半濁点 (゜) をつけるときは

濁点 (゛) や半濁点 (゜) をつけたい文字を入れたあと、次の操作を行います。

- スピーカホン 発着 を押す



●くり返し押すと、(゛) と (゜) が切り替わります。

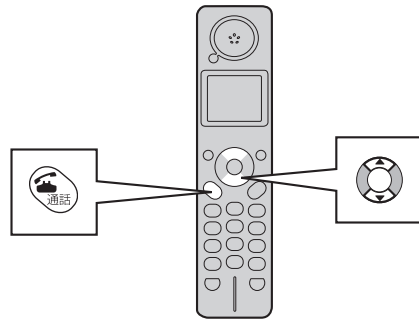
■ スペースを入力するときは

を必要な分だけ押します。1回押せば1文字分のスペースが入ります。

子機の電話帳で電話をかける

相手の方を選んで電話をかける

電話帳に登録すると、マルチファンクションキーの操作だけで相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、次の順に自動的に並べ換えられます。
数字（0→9）→英字（A→Z）→50音順



操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 で相手の方を選ぶ

イケダ サトシ

- 相手の方を選んだあと、 を押すと電話番号を表示して確認することができます。

2 を押す

0312345678

- 子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。
- ダイヤルを始めます。

■途中でやめるときは

- を押します。

■17ケタ以上の番号をダイヤルするとき

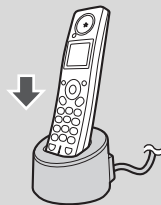
電話帳には、電話番号を最大16ケタまでしか登録できません。17ケタ以上の電話番号のときは、番号を分けて登録しておけば続けて使えます。
(チェーンダイヤル機能)

- ① で最初の番号を選ぶ
- ② を押す
- ③ を押す
- ④ で次の番号を選ぶ
- ⑤ を押す

3 相手の方とお話する



4 通話が終わったら充電器に戻す



- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

お知らせ

- 親機でコピー中、プリント中のときは、子機で電話をかけることはできません。
- 子機で見てからダイヤル機能を利用することはできません。



相手の方の名前の頭文字で検索して電話をかける

名前の頭文字を入力して、相手の方を選ぶこともできます。

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

2

電話帳
留守番

子機の電話帳で電話をかける

1 を押す

ナマエ?

2 相手の方の名前の
頭文字をダイヤル
ボタンで入力する

イ

(例)「イ」で探す:

を2回押す

3 を押す

イケダ サトシ

- 入力した文字から始まる相手の方を表示します。
- 該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

■途中でやめるときは

を押します。

4 で相手の方を
選んだあと、
 を押す

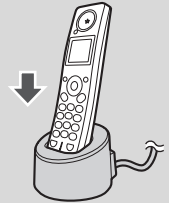
0312345678

- 相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます

5 相手の方とお話
する



6 通話が終わったら
充電器に戻す



- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。

親機と子機の間で電話帳を転送する

親機で登録した電話帳を子機に、子機で登録した電話帳を親機に転送することができます。親機から子機へ転送すると電話帳の内容（「読み」と第1番号）が子機に追加されます。また、子機から親機へ転送すると電話帳の内容（「名前」と「読み」と第1番号）が親機に追加されます。

親機の電話帳を子機に転送する

操作のしかた

1 を押し、
 で「電話帳」を
選ぶ

登録/機能
③ 音の設定
④ 着信記録
⑤ コピー設定
⑥ 画面設定
⑦ 電話帳
☑で選択 [決定] で決定
写真メニュー 戻る

2 を押し、
 で「子機転送」
を選ぶ

電話帳
① 登録
② 子機転送
③ SDカードから取り込む
☑で選択 [決定] で決定
戻る

3 を押す

すべて転送するときは

4 「全件転送」を
選ぶ

子機転送
① 全件転送
② 1件毎転送
☑で選択 [決定] で決定
戻る

1件ずつ転送するときは

4 で「1件毎
転送」を選ぶ

子機転送
① 全件転送
② 1件毎転送
☑で選択 [決定] で決定
戻る

を押し、
 で転送したい
相手の方を選ぶ

電話帳 登録 4件 (残り 96件)
① 時報 117
② 天気予報 177
③ 番号案内 104
池田 悟 0312945678
☑で選択 [決定] で決定
戻る

5 を押し、
 で転送先の
子機を選ぶ

全件転送
① 子機1へ転送
② 子機2へ転送
③ 子機3へ転送
④ 子機4へ転送
☑で選択 [決定] で決定
戻る

例：全件転送の場合

6 を押す

(ただし、17ケタ以上の番号で登録しているデータや、メールアドレスのみ登録しているデータは転送できません。)

■途中でやめるときは

停止
 を押します。

■1つ前に戻るときは

を押します。

■「転送できないデータがあります 操作を続けますか? [L/決定]で転送します」と表示されたときは

この表示は親機に17ケタ以上の番号で登録しているときや、メールアドレスのみ登録しているときに表示されます。

を押すと、その相手の方以外のデータを転送します。

お知らせ

- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- 親機の電話帳を転送しても、子機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- 転送を行っても、登録されていた電話帳の内容は消えません。



親機と子機の間で電話帳を転送する

子機の電話帳をすべて親機に転送する

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

- 1** を押し、
 で「デンワ
チョウテンソウ」
を選ぶ

デンワ
チョウテンソウ

- 2** を押す

カンリョウシマシタ

- 親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。
- 転送が完了すると、「ピー」と鳴って、上の表示が約30秒間表示されたあと、待受画面に戻ります。(切ボタンを押しても、待受画面に戻ります。)

子機の電話帳を1件ずつ親機に転送する

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

- 1** で転送したい
相手の方を選んだ
あと、 を押す

ハンゴウヘンコウ

- 2** で「デンワ
チョウテンソウ」
を選んだあと、
 を押す

カンリョウシマシタ

■途中でやめるときは

- を押します。

- 親機が使用中などで転送できないときは、「ピーピー」と鳴って転送できません。
- 転送が完了すると、「ピー」と鳴って、上の表示が約30秒間表示されたあと、待受画面に戻ります。(切ボタンを押しても、待受画面に戻ります。)

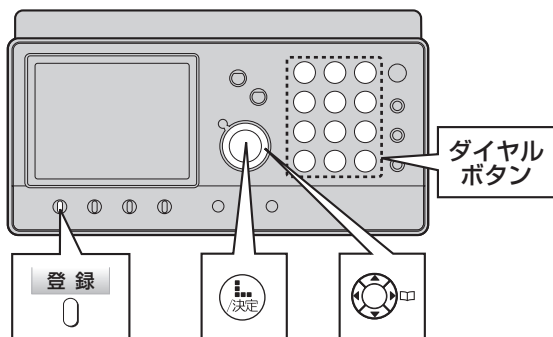
お知らせ

- 転送するときにはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
- 電源コードを子機や充電器の近くにたばねて置くと、転送できないことがあります。この場合、コードを伸ばすなどしてコードの位置を変えてください。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 名前の先頭が“*”ではじまっているものは、転送動作は完了しますが、親機の電話帳には登録されません。
- 転送中に電話がかかってくると、転送を中断し、電話の着信音が鳴ります。
- 子機から他の子機へ転送することはできません。
- 転送する件数と登録できる件数を確認して親機や子機の電話帳が100件を超えないようにしてください。100件を超えた電話帳の内容は転送されません。
- 工場出荷時にあらかじめ登録されている電話番号(天気予報、時報、番号案内)を転送することはできません。
- 同じ名前、同じ電話番号で登録している電話帳の内容は転送されません。ただし、1か所でも修正した電話帳の内容は別のデータとして扱われて転送されます。
- 子機の電話帳を転送しても、親機に登録されていた電話帳の内容は上書きされません。
- 転送を行っても登録されていた電話帳の内容は消えません。

見てからダイヤルを利用する

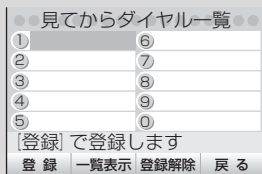
見てからダイヤルに 番号を登録する

よく利用する電話番号を親機のダイヤルボタン（1～0）に登録しておくことで、簡単な操作で電話をかけたりファクスを送ることができます。（見てからダイヤル）見てからダイヤルは10件まで登録できます。見てからダイヤルに登録するには、あらかじめ親機の電話帳に番号を登録しておく必要があります。（☎ 2-20～2-22ページ）



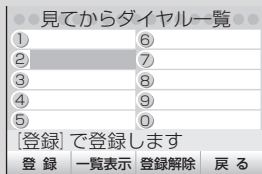
操作のしかた

1 を押す



- 見てからダイヤルが1件も登録されていないときは「[登録]で登録します」と表示されます。
- すでに電話番号が登録されている見てからダイヤルには、相手の方の名前が表示されません。

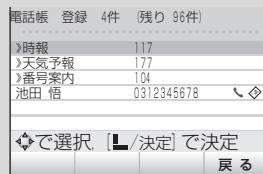
2 で電話番号を登録したい番号（1～0）を選ぶ



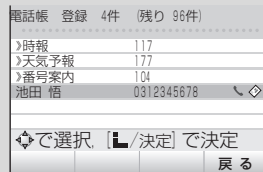
- 番号を登録できるのは10件までです。10件登録されている状態で新たに登録する場合は、不要な見てからダイヤルの登録を解除してください。

■ 見てからダイヤルの登録を解除するときは （☎ 2-46ページ）

3 を押す

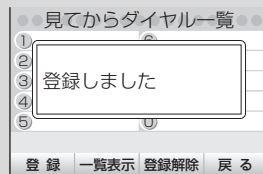


4 で登録したい相手の方を選ぶ



- 親機の電話帳リストから登録したい相手の方を選びます。

5 を押す



- 「登録しました」と音声でお知らせします。
- 見てからダイヤルに登録できるのは第1番号のみです。
- 見てからダイヤルでは電話帳に登録されている名前の先頭の全角5文字（半角10文字）のみ表示されます。

6 を押す

- 待受画面に戻ります。



見ながらダイヤルを利用する

■途中でやめるときは

 を押します。





■一つ前に戻るときは

 を押します。

■見ながらダイヤルに登録した内容を修正するとき

もとの電話帳の登録内容を修正してください。
(☎ 2-23～2-24ページ)

■見ながらダイヤルの登録を解除するとき

- ①  を押す
- ②  で登録を解除したい項目を選ぶ
- ③  を押す。
- ④ もう一度、 を押す。

また、登録されている項目を電話帳から消去しても、見ながらダイヤルの登録は解除されず、見ながらダイヤルの登録を解除しても、電話帳の内容が消えることはありません。

2

電話帳
電話

留守番

見ながらダイヤルを利用する

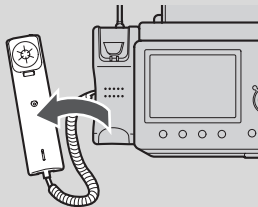
お知らせ

- 見ながらダイヤルに登録する画面から登録内容を修正することはできません。
- 親機の電話帳の内容を修正または消去すると、見ながらダイヤルの登録内容も自動的に更新されます。
- 見ながらダイヤルで名前が途中までしか表示されない場合、全部表示させたいときは、親機の電話帳の名前を全角5文字（半角10文字）以内に修正してください。(☎ 2-23～2-24ページ)
- 電話帳に1件も番号が登録されていないとき見ながらダイヤルに登録しようすると、「電話帳に登録がありません」と表示されます。電話帳に番号を登録してから、再度 **操作のしかた** の手順1～5を行ってください。

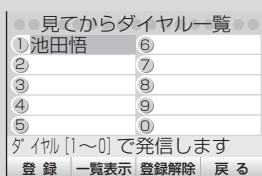
見てからダイヤルで電話をかける

操作のしかた

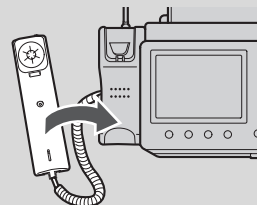
1 受話器を取る



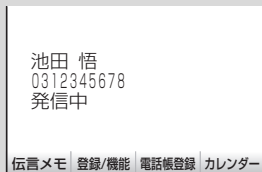
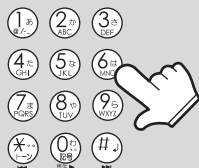
4 相手の方とお話する

2 を押す

5 通話が終わったら受話器を戻す



3 相手の方が登録されているダイヤルボタン(1~0)を押す



- 相手の方の名前が表示され、ダイヤルを始めます。

- 途中でやめるときは受話器を戻します。

 お知らせ

- 番号が登録されていないダイヤルボタンを押すと、「登録されていません」と表示されます。
- 見てからダイヤルで自動的に電話をかけるときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。




ホットラインダイヤルを利用する

子機ではよく電話をかける相手の方をホットラインダイヤル（1件）に登録しておく、簡単な操作で電話をかけることができます。（ホットラインダイヤル）
ホットラインダイヤルに登録するにはあらかじめ子機の電話帳に登録しておく必要があります。（☎2-33ページ）


ホットラインダイヤルに番号を登録する

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1  で登録したい相手の方を電話帳から選ぶ

イケダ サトシ

2  を押す


- 「ピー」と鳴り、選んだ相手の方の電話番号を登録します。

3  を押す

■ ホットラインダイヤルの登録を変更するときは

操作のしかた の手順1からやり直します。先に登録されていた内容は消去されます。


■ ホットラインダイヤルの登録を消すときは

 を2秒以上押します。（「ピー」と鳴ったあと、ホットラインダイヤルの登録は自動的に解除されます。）


ホットラインダイヤルで電話をかける

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1  を押す



0312345678


- スピーカーホン通話で電話をかけます。
- 通話ボタンが点灯し、ディスプレイの  マークが表示されて、自動的にダイヤルを始めます。

2 相手の方が電話に出たら相手の方とお話する



■ 途中でやめるときは

 を押します。

3 通話が終わったら  を押す

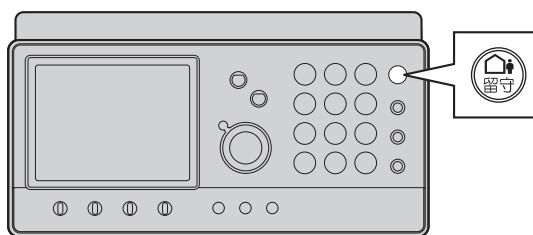
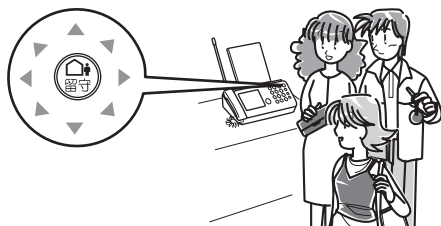
お知らせ

- ホットラインダイヤルの登録は、それぞれの子機に1つです。親機には登録できません。
- 通話ボタンを押したあと、ホットラインダイヤルボタンを押しても、電話をかけることができません。
- ホットラインダイヤルに登録した、元の電話帳の内容を変更・消去すると、ホットラインダイヤルの内容も変更・消去されます。

留守に設定する

外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。

相手の方の用件は、1件につき最大約3分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約12分間または、30件までです。



操作のしかた

受話器を置いたまま操作します。

1 留守ボタンを押して点灯させる



消灯

点灯

固定応答メッセージ

- 留守ボタンが点灯し、固定応答メッセージが流れます
- 録音できる残り時間が5分以下のときは、「残り約〇分、録音できます。」と流れます。

固定応答メッセージ

「ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

■自分で録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）にすときは

- ①あらかじめ応答メッセージを録音する
(☎2-56ページ)
- ②留守ボタンを押す

■固定応答メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは

はじめは2秒に設定されています。1秒または4秒に変更することができます。
(発信音待ち時間 ☎8-6ページ)

お知らせ

- オリジナルメッセージにしたときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。(☎2-50ページ)
- 録音時間が残り1分以下、または残りの件数が3件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください。(☎2-55ページ)
- ファクスのメモリー受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
- 留守設定中にファクスをメモリー受信すると、ディスプレイに「受信FAXがあります…」と表示されます。(☎3-25ページ)
- 留守設定中は、他の受信モード（FAX優先/FAX専用）は働きません。留守設定が優先されます。



留守に設定する

固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直してください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき (インクリボンがないときなど)	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話してください。」
ファクス受信も録音もできないとき	着信音が鳴り (25回)、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直してください。」 (3回流れます。) ※ただし、リモート操作 (☎4-48~4-50ページ) するための暗証番号が登録されていないと応答しません。

2

電話帳
留守番

留守に設定する

■ 応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を変えるときは (留守モード時のコール回数)

応答メッセージが流れるまでの着信音の回数を設定します。

- ① を押し、 で「音の設定」を選ぶ
- ② を押し、 で「親機着信音」を選ぶ
- ③ を押し、 で「留守設定時コール回数」を選ぶ
- ④ を押し、 で「回数選択」を選ぶ
- ⑤ を押し、ダイヤルボタンでコール回数を入力する (01回~25回)
- ⑥ を押し
- ⑦ を押し

■ 相手の方が自動送信でファクスを送っているときは

「ポー・ポー…」という音を検出すると、自動的にファクス受信に切り替わります。(ファクス受信可能な場合のみ)

■ 留守設定中に相手の方の録音中の声を聞くときは (お声拝聴) (☎8-6ページ)

お声拝聴の設定を「あり」にすると留守録音中に相手の方の録音中の声と応答メッセージがスピーカーから聞こえます。(工場出荷時は「あり」に設定されています。)

「なし」に設定すると録音中の声と応答メッセージは聞こえません。

お知らせ

- 応答メッセージが流れている間や録音している間に受話器を取ると、通話できます。(親機、子機とも)
- メモリー容量がないとき (メモリーがいっぱいするとき) は、ファクスをメモリー受信することや録音することができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。もとの応答メッセージに戻すときは、メモリー受信データをプリントまたは消去するか (☎3-30、3-31ページ)、不要な録音を消去してください。(☎2-55ページ)
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。

着信音の回数とトールセーバー

留守モードでは、着信音の回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます。トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

<外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）>











外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

メッセージがあるとき…着信音2回で着信 }
 メッセージがないとき…着信音5回で着信 }



着信音が3回鳴った時点で、メッセージが録音されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、リモート操作（☎4-48～4-50ページ）によって音声メッセージを確認するなど、親機を操作することができます。

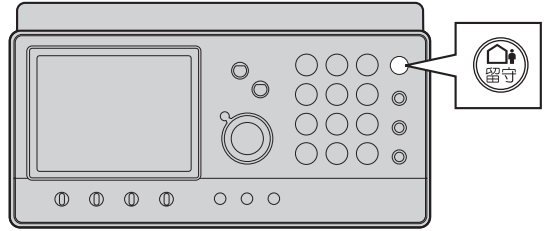
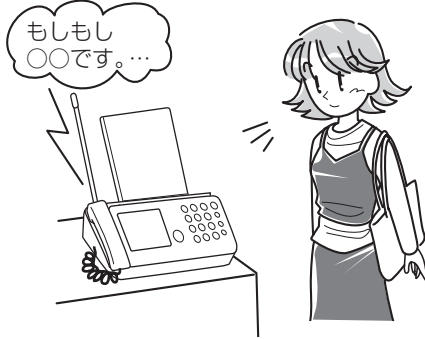
■ 留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは

- ①  を押し、 で「音の設定」を選ぶ
- ②  を押し、 で「親機着信音」を選ぶ
- ③  を押し、 で「留守設定時コール回数」を選ぶ
- ④  を押し、 で「トールセーバー」を選ぶ
- ⑤  を押し
- ⑥  を押し



留守設定を解除する

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

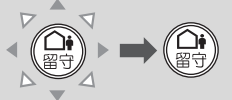


操作のしかた

受話器を置いたまま操作します。

1 留守を押す

留守設定中に録音があると点滅しています。



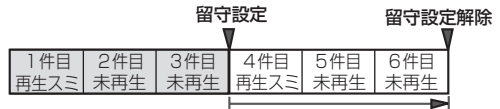
点滅 消灯

- 留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に1回再生します。
- 再生中は「早聞き」「遅聞き」「次の録音にとばす」「1つ前の録音に戻す」ことができます。
- 録音内容を1件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。



録音されている件数が表示されます。

留守設定以降の再生について



留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません。

■ 再生を途中でやめるときは

停止 を押します。

■ 留守ボタンが点滅しているときは

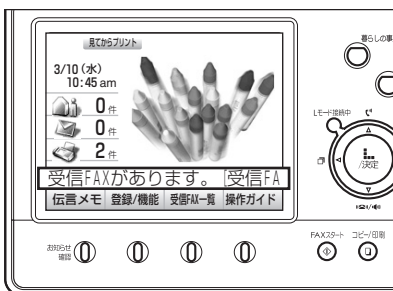
- 留守設定中に1回点滅しているときは、新しく入った録音があります。また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
- 留守を解除したあとでも、2回点滅しているときは、まだ再生していない(未再生)録音(メモ録音や通話録音、留守録)があります。再生ボタンを押して約3秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。
- まだ再生していない録音を聞くとときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音されている内容を聞く(再生する)」([☞2-53~2-54ページ](#))の操作をします。

■ 留守設定を解除せずに留守録を聞くには (2-53ページ)

■ 再生中の操作について ([☞2-53ページ](#))

■ 親機のディスプレイに「受信FAXがあります…」と表示しているときは

送られてきたファクスがメモリーに残っています。すべての受信データを表示すると「受信FAXがあります…」の表示が消えます。([☞3-25ページ](#))



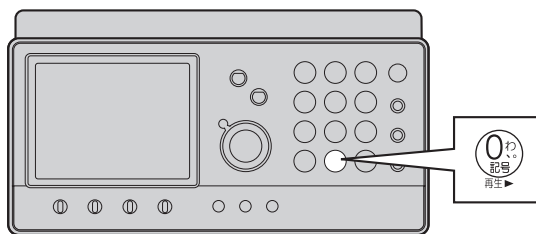
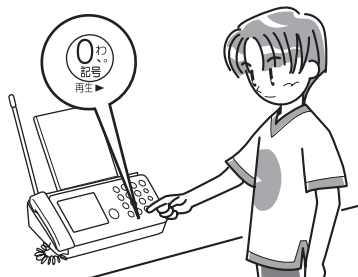
お知らせ

- 一度聞いた不要な用件は消去してください。録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
- 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
- 親機の日付と時刻の設定がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。正しく合わせてください。([☞1-22~1-23ページ](#))



録音されている内容を聞く（再生する）

親機に録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。



2 電話帳 留守番

親機で録音内容を再生する

操作のしかた

受話器を置いたまま操作します。

1 留守再生を押す

再生	
7月26日 10:45 AM	
内容: 用件	再生: 未
1件目	再生中
Ⓜで次の録音, Ⓜで前の録音	

●「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約3秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

録音されている内容を聞く（再生する）

再生を途中でやめるときは

停止を押します。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、**#**を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、**留守再生**を押す（速くなる）

もう一度、**留守再生**を押す（遅くなる）

もう一度、**留守再生**を押す（もとに戻る）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、**留守再生**を押す

1つ前の録音に戻すときは

再生中に、**留守再生**を2回続けて押す

今聞いている録音の1件前から再生します。聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して**留守再生**を押します。（1回押すごとに1件ずつ）

3秒以上再生したあと、**留守再生**ボタンを2回続けて押すと

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、1つ前の録音に戻る。さらに**留守再生**をくり返し押して、ディスプレイで件数を確認する

再生中に電話がかかってきたら

再生が止まります。このあと受話器を取ると、通話できます。

子機で録音内容を再生する



操作のしかた

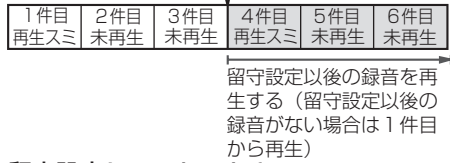
通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 機能 を2回押す

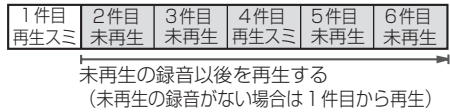


- 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約3秒以上再生した内容は再生スミになります。）
- 子機で録音内容を再生しても、留守設定は解除されません。

留守設定しているとき
留守設定



留守設定していないとき



■ 再生を途中でやめるときは

📞 を押します。

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、(6) ^ハ _{MNO} を押す

早聞きするときは

再生中に、(9) ^ラ _{WXYZ} を押す

もとに戻すときは、もう一度、(9) ^ラ _{WXYZ} を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、(5) ^ナ _{JKL} を押す

1つ前の録音に戻すときは

再生中に、(5) ^ナ _{JKL} を2回続けて押す

今聞いている録音の1件前から再生します。聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して(5) ^ナ _{JKL} を押します。（1回押すごとに1件ずつ）

3秒以上再生したあと、(5) ^ナ _{JKL} ボタンを2回続けて押すと



聞きたい録音まで戻すときは、1つ前の録音さらに(5) ^ナ _{JKL} をくり返し押す に戻る

■ 再生中に電話がかかってきたら

再生が止まってから着信音が聞こえます。このあと📞 を押すと通話できます。

📢 お知らせ

- 一度聞いた不要な用件は消去してください。（☎ 2-55ページ）録音されている用件が多いと、メモリー容量が少なくなり、新しく録音することやファクスを受けることができなくなることがあります。
- 消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
- 親機の日付と時刻の設定がまちがっていると、まちがった日付と時刻が記録されます。正しく合わせてください。（☎ 1-22～1-23ページ）

録音されている内容を消去する

一般録音（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を消去します。

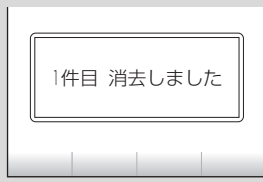


録音を1件消去する

操作のしかた

受話器を置いたまま操作します。

- 消したい録音を再生中に
キャッチ/消去
○ を
L 回線断
2 回押す

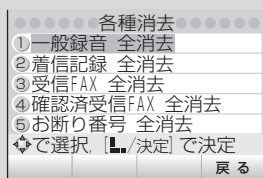


録音をすべて消去する

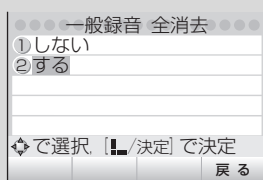
操作のしかた

受話器を置いたまま操作します。

- キャッチ/消去
○ を押し、
L 回線断
「一般録音
全消去」を選ぶ



- 決定 を押し、
○ で「する」を
選ぶ



- 決定 を押す



■ 親機の録音メモリーの残量を確認するときは (FAX/録音メモリー残量表示)

- 登録/機能 を押し、○ で「詳細設定」を選ぶ
- 決定 を押し、○ で「メモリー残量表示」を選ぶ
- 決定 を押し、○ で「FAX/録音メモリー」を選ぶ
- 決定 を押す
(例)

メモリー残量 85%

- 停止
○ を押す (待受画面に戻ります)



オリジナル応答メッセージを録音する

留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを1種類録音できます。(オリジナルメッセージ) 録音できる時間は他の録音と合わせて最大約12分です。

操作のしかた

2 電話帳 留守番

オリジナル応答メッセージを録音する

1 を押し、
 で「音の設定」
を選ぶ

●●●●● 登録/機能 ●●●●●
① 初期登録
② おもしろ機能設定
③ 音の設定
④ 着信記録
⑤ コピー設定
⇨ で選択, [L/決定] で決定
戻る

2 を押し、
 で「オリジナル
応答」を選ぶ

●●●●● 音の設定 ●●●●●
① 音量調整
② 親機着信音
③ メール到着通知音
④ メール受信完了音
⑤ オリジナル応答
⇨ で選択, [L/決定] で決定
戻る

3 を押し、
「録音」を選ぶ

●●●●● オリジナル応答 ●●●●●
① 録音
② 消去
③ 再生
⇨ で選択, [L/決定] で決定
戻る

4 を押す

オリジナル応答 録音
受話器をお取りください

5 受話器を取る

6 を押し、
受話器で応答
メッセージを話す

—— 応答メッセージの例 ——

「はい、〇〇です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話してください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

7 録音が終わったら
停止 を押し、受話器
を戻す

●録音したメッセージを再生します。

■途中でやめるときは

を押します。

■応答メッセージの内容を変えるときは

録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■応答メッセージの内容を聞くとときは

操作のしかた の手順3で「再生」を選び、 を押します。

オリジナルメッセージが再生されます。

■応答メッセージを消すときは

操作のしかた の手順3で「消去」を選んで を押し、「する」を選んで を押します。

お知らせ

- 応答メッセージを録音すると、留守設定時には録音した応答メッセージ(オリジナルメッセージ)が流れます。固定応答メッセージに戻りたいときは、録音した応答メッセージを消してください。
- 応答メッセージを録音していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります。(P.2-50ページ) 記録紙やインクリボンを設定して受信内容をプリントしたあと、または用件を消去するとオリジナルメッセージに戻ります。

第3章

コピー／ファクス

	ページ		ページ
コピー／ファクスをする前に		ファクスの受けかた	
使用できる原稿	3-2	在宅モード（家にいるとき）	3-19
原稿をセットする	3-3	留守モード（留守にするととき）	3-20
原稿を取り出す（原稿排出）	3-3	ファクスを受信したときのプリントのしかた	3-20
コピー／ファクスするときの画質・濃度を選ぶ	3-4	電話に出た後からファクスを受ける	
<コピー>		親機で電話に出た後からファクスを受ける	3-21
コピーする		子機で電話に出た後からファクスを受ける	3-22
コピーの禁止について	3-6	電話に出ないで自動的にファクスを受ける	
等倍でコピーする	3-6	親機で自動的にファクスを受ける	3-23
拡大／縮小／複数枚コピーする	3-7	自動的にファクスを受けるときの 着信音の回数を変える	3-24
<ファクス>		メモリー受信したファクスを画面で見る （見てからプリント機能）	
ファクスを送る		見てからプリント機能とは	3-25
親機でお話ししてからファクスを送る	3-8	受信したファクスを画面に表示する	3-27
親機でお話ししないでファクスを送る	3-10	表示したファクスの見かた	3-28
画像データをファクスで送る	3-11	メモリー受信したファクスをプリントする	3-30
海外へファクスを送る	3-13	メモリー受信したファクスを消去する	3-31
電話帳や再ダイヤルでファクスを送る		ご参考 ファクシミリで文字や画像が 送れるしくみ	3-32
親機の電話帳や再ダイヤルでファクスを送る	3-14		
親機の電話帳から名前を検索して ファクスを送る	3-15		
見てからダイヤルでファクスを送る	3-16		
子機の操作でファクスを送る			
子機の操作（ダイヤル／電話帳／再ダイヤル）で ファクスを送る	3-17		
子機の電話帳から名前の中の頭文字で検索して ファクスを送る	3-18		



コピー／ファクスをする前に

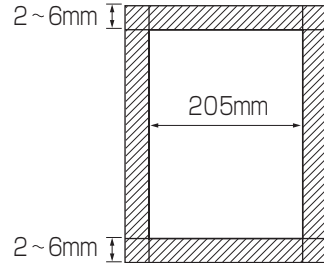
使用できる原稿



■ 原稿を読み取れる範囲

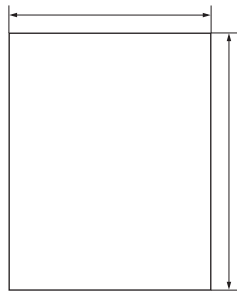
原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

- 最大読み取り幅 205mm
- 最大読み取り長 送信原稿長 (128～500mm) から上下とも 2～6mm を引いた長さ



■ セットできる原稿のサイズ

幅 148mm～210mm



長さ 128mm～500mm

厚さ 0.06mm～0.18mm

- コピーするときは記録紙が A4 サイズなので A4 サイズの原稿 (210mm × 297mm) までしかプリントできません。ただし、A4 サイズの長さを超える原稿を A4 サイズに分割してコピーすることができます。(分割コピー 8-8 ページ)

〈厚さの目安〉

新聞紙の厚さは約 0.05～0.06mm です。

上質紙の厚さは約 0.10mm です。

官製はがきの厚さは約 0.23mm です。

この取扱説明書の表紙の紙厚は約 0.14mm です。

この取扱説明書の本文の紙厚は約 0.09mm です。

■ 一度に2枚以上セットできない原稿

- 長さ 297mm を超える原稿
- 厚さ 0.12mm (90kg 用紙……四六判 (788 × 1091mm) の用紙 1000 枚の重量) を超える原稿
- 厚さや大きさの異なる原稿

■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとってからセットしてください。

- サイズが規定より小さすぎるもの (例：写真など)
- フィルム状のもの
- 紙の厚さが薄すぎるもの
- しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- 裏カーボン紙、感熱紙など
- コーティングされているもの

お知らせ

- クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラーや読み取り部 (ガラス) の汚れの原因になります。(汚れたときは 7-3～7-4、7-5 ページ)
- 原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面やインクリボンに傷がつきます。「原稿がつまったときは」を参照して取り出してください。(7-6 ページ)

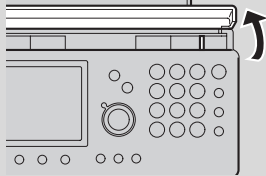


原稿をセットする

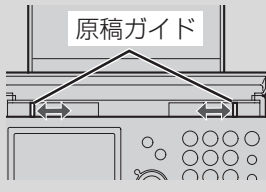
コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿挿入口に入れてください。(一度に10枚まで)

操作のしかた

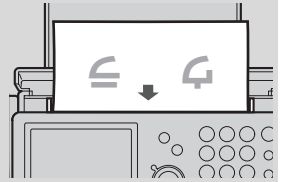
1 原稿挿入口カバーを開ける



2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせる



3 原稿はウラ向きに！ コピーや送信する面を下にしてセットする(一度に10枚まで)



- 原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。

■ 11枚以上の原稿があるとき

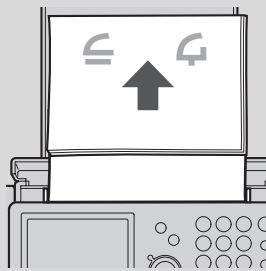
10枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送り出されて減った枚数分を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

原稿を取り出す(原稿排出)

操作のしかた

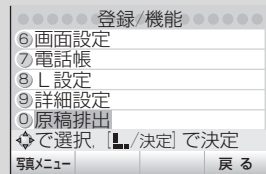
記録紙をセットしているときは記録紙を取り出してから操作します。

1 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く

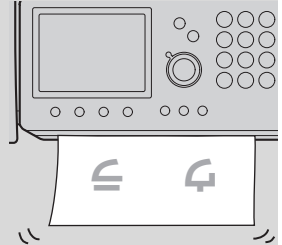


- 原稿が1枚だけのときは、手順1をとばして手順2へ進みます。

2 登録/機能 を押して で「原稿排出」を選ぶ



3 決定 を押す



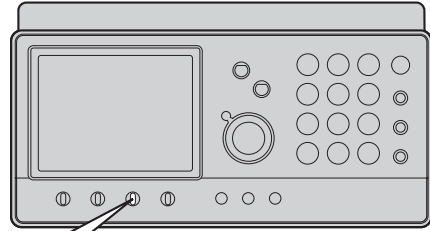
- 原稿が自動的に排出されます。

■ 原稿が排出されないときは (7-6ページ)



コピー／ファクスするときの 画質・濃度を選ぶ

原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選ぶことができます。



※画質ボタンは原稿がセットされているときのみ表示されます。

操作のしかた

原稿をセットした状態で操作します。

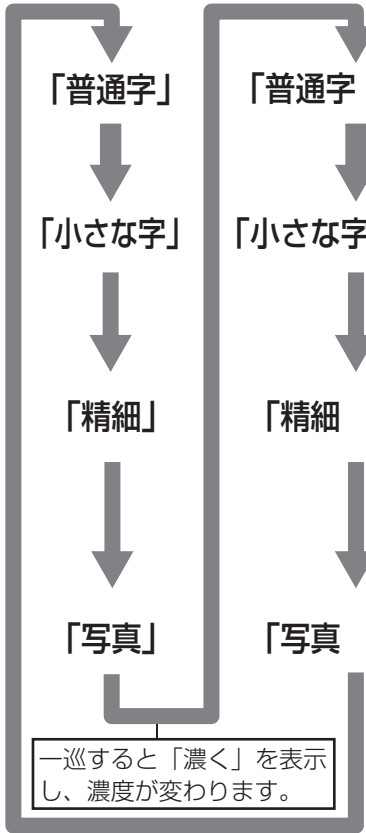
1  **画質** を押し、画質・濃度を選ぶ

- 画質ボタンを押すごとに、画質・濃度が変わります。
- 画質ボタンを押さなかった場合、コピーのときは「小さな字」、ファクス送信のときは「普通字」に設定されます。

■ 選べる画質・濃度について (☞ 3-5ページ)



■選べる画質・濃度について



●「普通字」「普通字 濃く」
文字が大ききはっきり見えるときに選
びます。



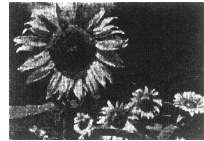
●「小さな字」「小さな字 濃く」
文字が小さな字のときに選びます。
（「普通字」の2倍の密度で読み取ります。）
画像が小さくなる（縮小される）ことは
ありません。



●「精細」「精細 濃く」
細い線を使った図面や、更に小さな
字のときに選びます。
（「普通字」の4倍の密度で読み取ります。）
受信側に「精細」がないときは、自
動的に「小さな字」に切り替わります。



●「写真」「写真 濃く」
濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、
写真のときに選びます。
※原稿の文字などが薄いときは「濃く」
を選びます。



お知らせ

- 「普通字」に比べると、「小さな字」「精細」「写真」で送るとファクスの送信時間が長くなります。
- コピーをするときは、「普通字」を選んでも、「小さな字」でコピーされます。また「普通字 濃く」を選んでも、「小さな字 濃く」でコピーされます。
- ファクスを送信する場合に画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」が選ばれます。
- ファクスやコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
- 「小さな字」でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によって部分的に写らなかったり、黒く写ることがあります。



コピーする

コピーの禁止について

本商品で原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

■ 法律で禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）
- 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）
- 未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けずにコピー（複製）することは禁じられています。（郵便切手類模造等取締法）
- 政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。（印紙等模造取締法）

■ コピー（複製）する場合に注意を要するもの

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。
- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■ 著作権に注意するもの

- 著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

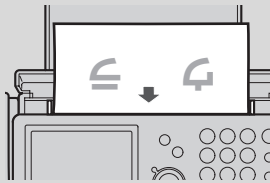
等倍でコピーする

一度に10枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。

操作のしかた

原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ 原稿をウラ向き にセットする



- コピーする面を下にしてセットします。（一度に10枚まで）
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「小さな字」でコピーします。

■ コピーの途中で画質を切り替えるときは

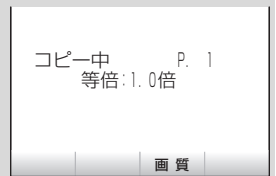
コピー中に **画質** を押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー途中の原稿の画質を変えることはできません。）

■ 拡大／縮小／複数枚コピーをするときは （☞ 3-7ページ）

■ 原稿がつまったときは（☞ 7-6ページ）

■ 記録紙がつまったときは（☞ 7-7ページ）

2 コピー/印刷 を押す



- コピーが始まります。

■ 途中でやめるときは

停止 を押します。

（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

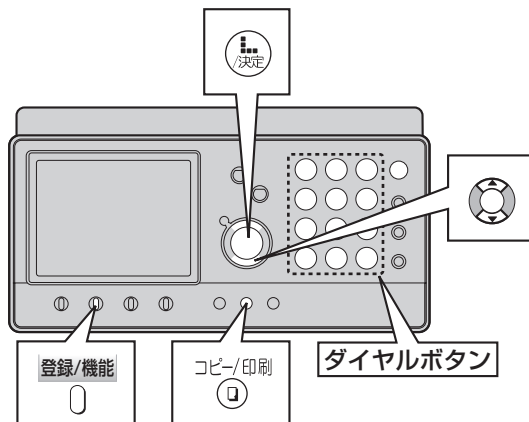
お知らせ

- 等倍でコピーしても、機械の状態や記録紙の状態により厳密な等倍サイズにはならないことがあります。
- 通話中にコピーを始めることはできません。
- コピー中に電話がかかってきたときは、親機の受話器を取ってお話してください。親機のオンフックボタンを押しても、相手からの声は聞こえませんがお話しはできません。
- コピー中は、内線通話や子機での通話はできません。
- 停止ボタンを押すと選んだ画質が取り消されます。



拡大／縮小／複数枚 コピーする

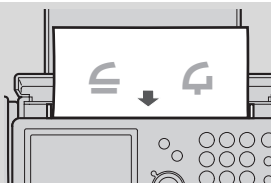
拡大／縮小コピーや同じ原稿の複数枚コピーなどが
できます。



操作のしかた

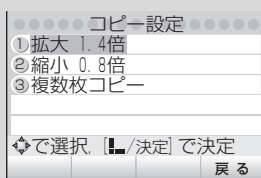
原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ 原稿をウラ向き にセットする

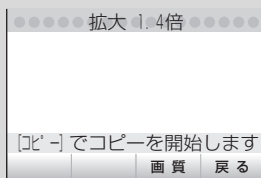


- コピーする面を下にしてセットします。
(一度に10枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。
画質ボタンを押さなかったときは、自動的に
「小さな字」でコピーします。

2 登録/機能 を押し、 ダイヤルボタン で「コピー 設定」を選び、 決定 を押す

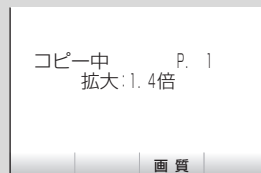


3 ダイヤルボタン でコピーの 種類を選び、 決定 を押す



- 複数枚コピーのときにコピー枚数をまちがえたときは
枚数を入力し直します。
- 等倍コピーをするときは (☞ 3-6ページ)
- 原稿がつまったときは (☞ 7-6ページ)
- 記録紙がつまったときは (☞ 7-7ページ)

4 コピー/印刷 を押す



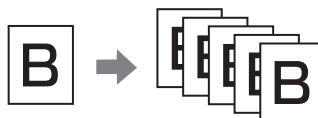
- コピーが始まります。
- コピー終了後、等倍に戻ります。

手順3のときに……

「拡大1.4倍」を選んだとき
140%に拡大してコピーします。
原稿挿入方向 ↑ ○の位置を
基準に拡大
します。

「縮小0.8倍」を選んだとき
80%に縮小してコピーします。
原稿挿入方向 ↑ ○の位置を
基準に縮小
します。

「複数枚コピー」を選んだとき
複数枚のコピーをします。
①_{めん} ~ ⑤_{JKL} を押して枚数を入力し、
決定 を押します。(最大5枚)



お知らせ

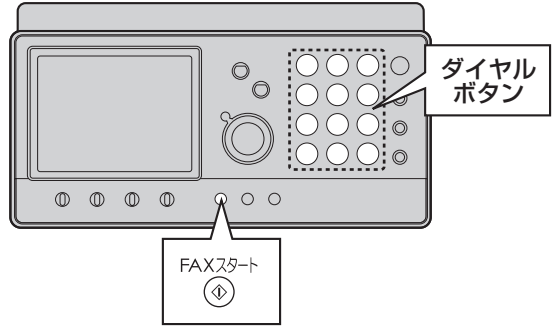
- コピー中は、内線通話や子機での通話はできませ
ん。



ファクスを送る

親機でお話してから ファクスを送る

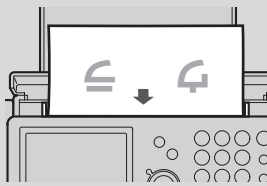
親機で電話をかけて、相手の方とお話してからファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に10枚までセットできます。



操作ガイド 0 を押すとファクス送信の案内が表示されます。

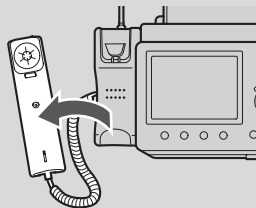
操作のしかた 原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ 原稿をウラ向き にセットする

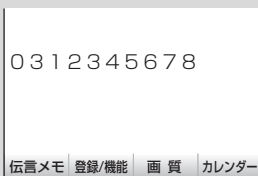


- 送信する面を下にしてセットします。
(一度に10枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。
画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 受話器を取る



3 「ツー」という音が 聞こえたら ダイヤルする

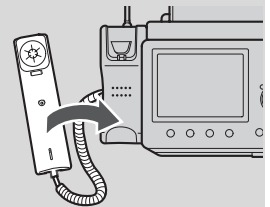


- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。
- 押したボタンの番号をスピーカの音声でお知らせします。(読上げボイスダイヤル機能)

4 相手の方が出たら ファクスを送ること を伝えて FAXスタート を押す

- 相手の方が電話を受けたらお話しすることができます。
- 相手の方のファクシミリが留守番電話のときはその案内に従って操作します。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。
(おまかせ送信)
※お使いの環境によってはおまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたらFAXスタートボタンを押してください。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。(原稿がつまった状態になります。)

5 受話器を戻す



- ファクス送信が終わると終了音が聞こえます。

■ 読上げボイスダイヤルの音声について
(☎ 2-2ページ)

3 コピー/ファクス
コピー
ファクス

ファクスを送る



- 送信前に途中でやめるときは
受話器を戻します。
- 相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは (☎3-10ページ)
- 11枚以上の原稿があるときは (☎3-3ページ)
- 「通信エラーがありました。」と聞こえたら (☎7-23ページ)
- セットした原稿を取り出すときは (☎3-3ページ)
- 子機の操作でファクスを送るときは (☎3-17ページ)
- 原稿が詰まったときは (☎7-6ページ)
- ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは
「終了音を鳴らす」(☎4-45ページ) で切り替えます。
- おまかせ送信とは
相手の方が受信操作をすると「ピー」という音(ファクス受信音)が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。
※【 】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。
- 読上げボイスダイヤル機能の音量を変えるときは
「親機のスピーカーの音量を変える」(☎1-36ページ) の操作をしてください。
- 読上げボイスダイヤル機能を設定／解除するときは (☎4-40ページ)

お知らせ

- ファクスを送ったとき、相手側の記録紙に日付と時刻、曜日をプリントするので、日付・時刻は正しく設定してください。(☎1-23ページ)



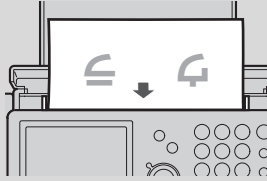
親機でお話ししないでファクスを送る

相手の方にダイヤルし、お話ししないでファクスを送ることができます。

操作のしかた

原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ 原稿をウラ向き にセットする



- 送信する面を下にしてセットします。
(一度に10枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。
画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 オンフック を押す



オンフックダイヤルモード

伝言メモ 登録/機能 画質 カレンダー

■ 送信前に途中でやめるときは

オンフックを押します。

■ 原稿がつまったら (☎ 7-6ページ)

3 「ツー」という音が 聞こえたら ダイヤルする

0312345678

伝言メモ 登録/機能 画質 カレンダー

- まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確認したあと、正しくダイヤルしてください。
- 押したボタンの番号をスピーカーの音声でお知らせします。(読上げボイスダイヤル機能)

4 電話がつながったら FAXスタート を押す



- 送信が始まります。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。(原稿がつまった状態になります。)
- ファクス送信が終わると終了音が聞こえ、自動的に回線が切れます。

■ 読上げボイスダイヤルの音声について (☎ 2-2ページ)

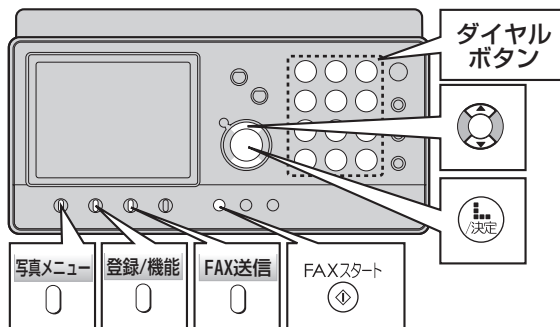
お知らせ

- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話ししてからファクスを送る」(☎ 3-8ページ)の方法で送信してください。
- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号(発信元番号)ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。(必要に応じて相手の方に確認してください。)
- 相手の方が自動受信(音声応答なしの場合)に設定されていると、こちら側には「ピー」音が聞こえます。
- 読上げボイスダイヤル機能の発声中に次のダイヤルボタンを押すと、発声中の声をやめ、次に押された番号を発声します。このため、早くボタンを押すと音声が届きません。音声を確認してから次のボタンを押すことをおすすめします。



画像データをファクスで送る

メールで受信したり、SDメモリーカード対応のデジタルカメラや携帯電話で撮影した画像データを、ファクスで送ることができます。(相手側のファクスでは、モノクロで受信されます)



操作のしかた

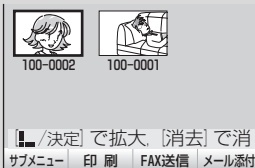
あらかじめ、送りたい画像が保存されているメモリーやフォルダを選んでおきます (☞ 4-22、4-30ページ)

1 原稿を一緒に送りたいときは原稿をセットする

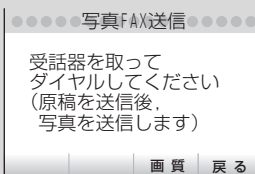
●原稿をセットしておくで、まず原稿を送信してからそのあと、画像データをファクス送信できます。

2 **登録/機能** を押し、
写真メニュー を押す

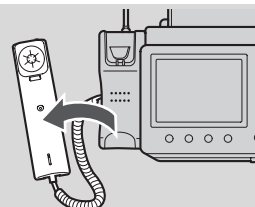
3 **決定** で送信する 画像データを選ぶ



4 **FAX送信** を押す



5 受話器を取る



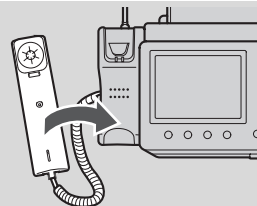
6 [ツー]という音が聞こえたらダイヤルする

0312345678

伝言メモ 登録/機能 画質 カレンダー

7 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて **FAXスタート** を押す

8 受話器を戻す



- 選択した画像データが送信され、終わると終了音が聞こえます。
- 画像データは自動的に画質を「写真」に設定して送信しますので通常の送信にくらべて時間がかかります。

3 コピー/ファクス

コピー
ファクス

画像データをファクスで送る



画像データをファクスで送る

■ 複数の画像データをまとめてファクスするとき

- ① **登録/機能** を押す
- ② **写真メニュー** を押す
- ③ **サブメニュー** を押し、 で「FAX送信」を選ぶ
- ④ を押し、 で「個別選択」を選んで を押す
- ⑤ で送信する画像データを選び、**指定/解除** を押す
- ⑥ 手順⑤を繰り返して送信する複数の画像データを指定する
- ⑦ 最後の画像データを指定したあと **選択終了** を押す
- ⑧ **操作のしかた** の手順5以降を行って送信する

■ 連続した範囲の画像データをファクスするとき

- ① **登録/機能** を押す
- ② **写真メニュー** を押す
- ③ **サブメニュー** を押し、 で「FAX送信」を選ぶ
- ④ を押し、 で「範囲指定」を選ぶ
- ⑤ を押し、 で送信する範囲の最初の画像データを選ぶ
- ⑥ **指定/解除** を押し、 で送信する範囲の最後の画像データを選ぶ
- ⑦ **選択終了** を押す
- ⑧ **操作のしかた** の手順5以降を行って送信する

■ すべてのデータをファクスするとき

- ① **登録/機能** を押す
- ② **写真メニュー** を押す
- ③ **サブメニュー** を押し、 で「FAX送信」を選ぶ
- ④ を押し、 で「全部」を選んで を押す
- ⑤ **操作のしかた** の手順5以降を行って送信する

■ 見てからダイヤルや電話帳、再ダイヤルを使ったり、相手とお話しないで画像をファクスするときには **操作のしかた** の手順5以降は、紙の原稿をセットしてファクスするときと同じです。

操作のしかた の手順1~4を行ったあと、3-8~3-16ページをご覧ください。

お知らせ

- 画像をファクスで送信中のときはSDメモリーカードを取り外さないでください。通信エラーになります。
- 画像をファクスで送るときは、自動的に「写真」の画質で送信されます。**画質** を押して画質を選ぶことはできません。
- と表示されている画像、「ダウンロード コピー不可」の画像は送信されません。



海外へファクスを送る

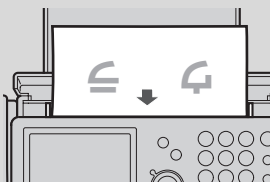
時差など考えて上手にご利用ください。

操作のしかた

原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

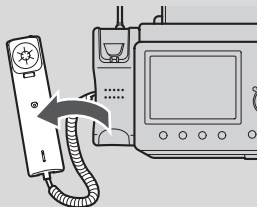
(例) アメリカ (1-212-123-4567) へ送る場合

1 原稿ガイドを合わせ 原稿をウラ向き にセットする

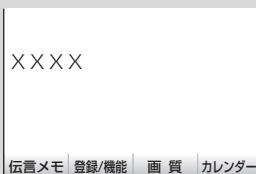


- 送信する面を下にしてセットします。
(一度に10枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。
画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 受話器を取る



3 電話会社の識別 番号をダイヤル する



- 「マイライン」「マイラインプラス」を契約されているときはダイヤルする必要はありません。

4 010をダイヤル する



- 途中でやめるときは
受話器を戻します。

- 原稿が詰まったときは (P.7-6ページ)

- 読上げボイスダイヤルの音声について (P.2-2ページ)

5 国番号を入れる

(例) アメリカ



XXXX0101

伝言メモ 登録/機能 画質 カレンダー

6 市外局番を入れる

(例)



XXXX0101212

伝言メモ 登録/機能 画質 カレンダー

- 最初にくる「0」は必要ありません。

7 ファクス番号を ダイヤルする

1012121234567

伝言メモ 登録/機能 画質 カレンダー



8 電話がつながったら

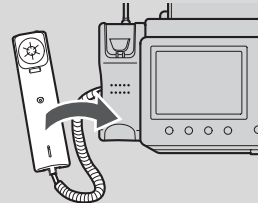
FAXスタート



を押す

- 送信が始まります。
- 送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。(原稿が詰まった状態になります。)
- 相手の方が電話に出る前にFAXスタートボタンを押すとファクス送信ができないことがあります。

9 受話器を戻す



お知らせ

- 海外へファクスを送るときは、国や地域によって回線状況がよくないところがあり、正常に受信されない場合があります。
- 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。
- 電話会社によっては、上記の手順と異なる場合があります。

3 コピー/ファクス

海外へファクスを送る



電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

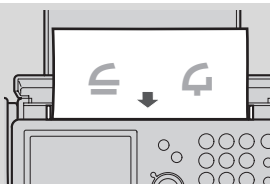
親機の電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておく、電話帳から相手の方を選んでファクスを送ることができます。親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分の番号を登録できます。(P.2-20~2-22、2-33ページ) 相手の方がお話し中など、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。

操作のしかた

受話器を置いたまま操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ 原稿をウラ向き にセットする



- 送信する面を下にしてセットします。(一度に10枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

3 FAXスタート を押す

- 自動的に送信を始めます。
- 電話帳でファクスを送るときは、L/決定ボタンを押して送信することもできます。

■途中でやめるときは

停止 を押します。

■「通信エラーがありました」と聞こえたら (P.7-23ページ)

■親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは (P.2-10ページ)

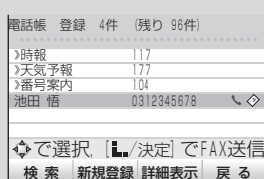
■原稿が詰まったときは (P.7-6ページ)

■受話器を取ってファクスを送るときは

- ① 原稿をセットし、受話器を取る
- ② 「ツー」という音を確認した後、電話帳で送るときは、 と押し、 で相手の方を選ぶ (第1番号に送るときは、このあと手順④に進みます。)
- 再ダイヤルで送るときは、 を押し、手順⑤へ進む
- ③ 電話帳で送るときは、 を押し、 で電話番号 (第1番号または第2番号) を選ぶ
- ④ を押す
- ⑤ 相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら (または、相手の方とつながったら) を押す
- ⑥ 受話器を戻す

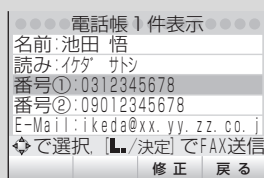
電話帳でファクスを送るとき

2 と押し、 で相手の方を選ぶ



- ディスプレイで相手の方を確認めます。

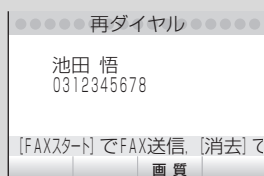
② を押し、 で電話番号 (第1番号または第2番号) を選ぶ



- 第1番号にファクスを送るときは、手順①のあと、FAXスタートボタン、またはL/決定ボタンを押して送ることもできます。

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 を押す



- ディスプレイで相手の方の名前 (番号) を確認します。

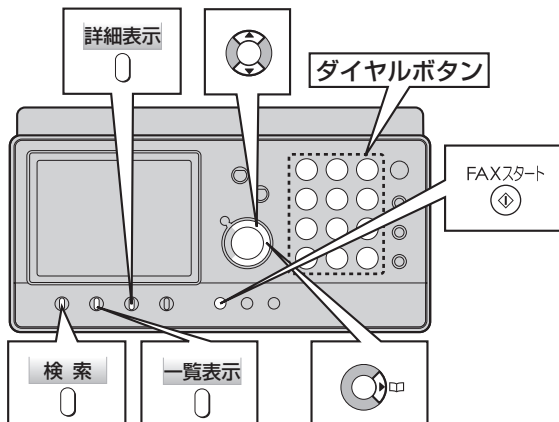
お知らせ

- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号 (発信元番号) ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。(必要に応じて相手の方に確認してください。)
- 電話帳や再ダイヤルで自動的にファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。



親機の電話帳から 名前で検索してファクスを送る

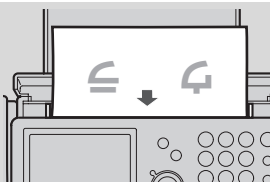
名前の「読み」を入力して、相手の方を電話帳から選ぶことができます。



操作のしかた

原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

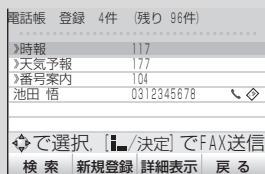
1 原稿ガイドを合わせ 原稿をウラ向き にセットする



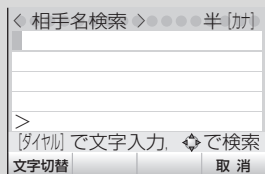
- 送信する面を下にしてセットします。
(一度に10枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。
画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 画質ボタンを押す

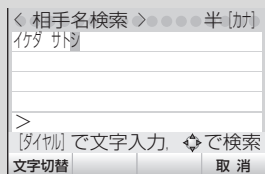
3 一覧表示ボタンを押す



4 検索ボタンを押す

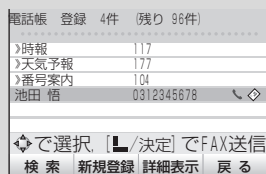


5 ダイヤルボタンで 名前の「読み」を 入力する



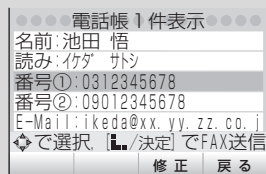
- 「読み」の頭文字や途中までの文字でも探すことができます。

6 電話帳ボタンを押す



7 電話帳ボタンで相手の方を選ぶ

8 詳細表示ボタンを押し、 電話帳ボタンで電話番号 (第1番号または 第2番号)を選ぶ



- 第1番号にファクスを送るときは、手順7のあと、FAXスタートボタン、またはL/決定ボタンを押して送ることもできます。

9 FAXスタートボタンまたは決定ボタンを押す

- 選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。
- 相手の方がファクス受信に切り替えると送信が始まります。

■途中でやめるときは

停止ボタンを押します。

■原稿が詰まったときは (☞7-6ページ)

お知らせ

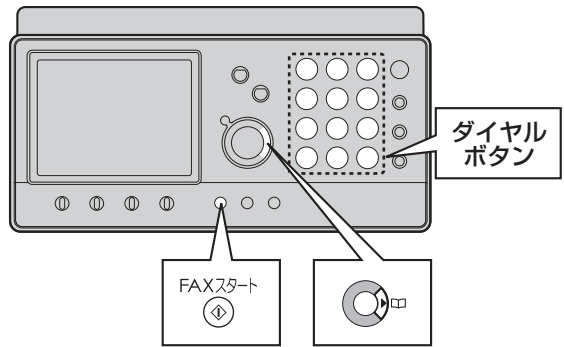
- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話してからファクスを送る」(☞3-8ページ)の方法で送信してください。



見てからダイヤルでファクスを送る

見てからダイヤルを利用して、簡単にファクスを送ることができます。

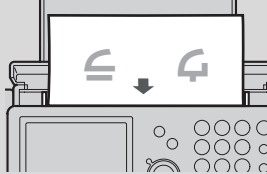
見てからダイヤルを利用するには、あらかじめ親機の電話帳から番号を登録しておく必要があります。(☎2-45ページ)



操作のしかた

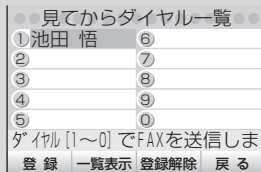
原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 原稿ガイドを合わせ 原稿をウラ向き にセットする




- 送信する面を下にしてセットします。(一度に10枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 を押す

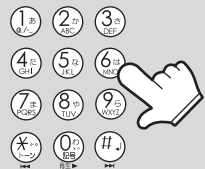


■途中でやめるときは

 を押します。

■原稿が詰まったときは (☎7-6ページ)

3 ファクスしたい 番号が登録された ダイヤルボタン (1~0) を押す



- 相手の方の名前が表示され、ダイヤルを始めます。
- 相手の方がファクス受信に切り替えると送信が始まります。

お知らせ

- 相手の方がファクス受信に切り替えなかったときなど「応答がありません」と表示されてファクスが送られないことがあります。こんなときは、「親機でお話してからファクスを送る」(☎3-8ページ)の方法で送信してください。
- 見てからダイヤル機能でファクスを送るときは、読上げボイスダイヤル機能は働きません。

子機の操作でファクスを送る



子機の操作（ダイヤル／電話帳／再ダイヤル）でファクスを送る

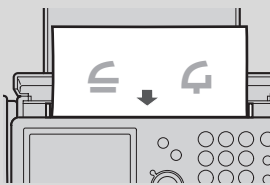
親機にセットした原稿を、子機でダイヤルしてファクスを送ることができます。

操作のしかた

原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 親機

原稿ガイドを合わせ
原稿を**ウラ向き**
にセットする



- 送信する面を下にしてセットします。
(一度に10枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。
画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

ダイヤルしてファクスを送るとき

2 子機

相手の方の番号を
ダイヤルしたあと

を押す

電話帳でファクスを送るとき

2 子機

で相手の方を
選んだあと、

を押す

再ダイヤルでファクスを送るとき

2 子機

を押したあと、

で相手の方を
選び、 を押す

3 子機

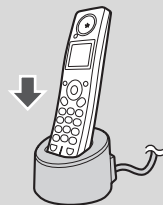
相手の方が出たら
ファクスを送る
ことを伝えて

を押す

- 機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。
- 相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
- 相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。(おまかせ送信)
※回線の状態でおまかせ送信が動かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

4 子機

充電器に戻す



- 途中でやめるときは
手順3を行うまでの間に、 を押します。
- 原稿が詰まったときは (☎7-6ページ)
- 子機の再ダイヤルの記憶を消去するとき (☎2-11ページ)
- おまかせ送信とは (☎3-9ページ)

3 コピー／ファクス
コピー
ファクス

子機の操作でファクスを送る

お知らせ

- 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。
- 子機で再ダイヤルできるのは、24ケタまでです。



子機の電話帳から名前の頭文字で検索してファクスを送る

子機の電話帳に登録されている相手の方を選ぶとき、名前の頭文字で検索して選ぶことができます。

操作のしかた

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。原稿挿入口カバーを開いてから操作します。

1 親機
原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする

- 送信する面を下にしてセットします。(一度に10枚まで)
- 画質を選ぶときは、画質ボタンを押します。画質ボタンを押さなかったときは、自動的に「普通字」で送信します。

2 子機
 を押す

3 子機
相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する

例) 「イ」で探す：
1 を2回押す

4 子機
 を押す

- 入力した文字から始まる相手の方を表示します。
- 該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

5 子機
 で相手の方を選び、 を押す

- 相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

6 子機
相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて
 を押す

- 機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。
- 相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
- 相手の方を受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。(おまかせ送信)

※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、機能ボタンを押してください。

7 子機
充電器に戻す

■ おまかせ送信とは (☎3-9ページ)

■ 途中でやめるときは

を押します。

3 コピー/ファクス
コピー/ファクス

子機の操作でファクスを送る

ファクスの受けかた

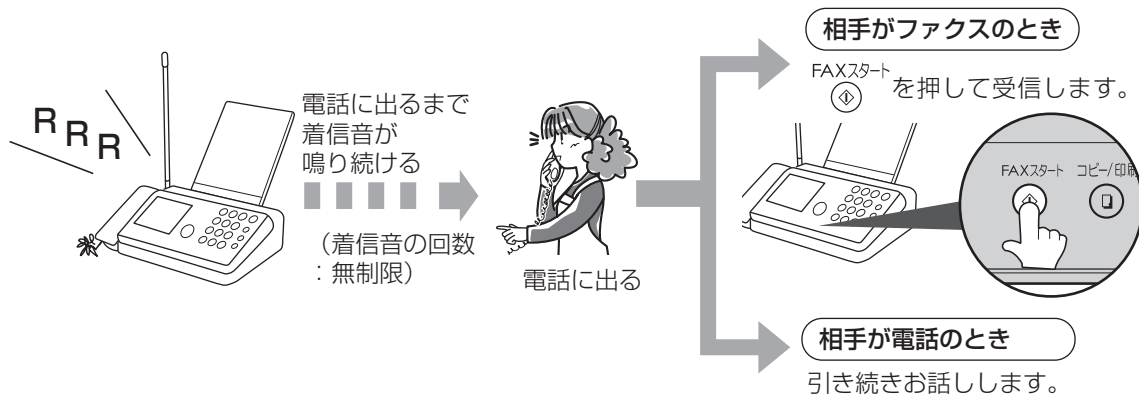


ファクスの受けかたは、「在宅モード」と「留守モード」の2つの種類があります。
受信したファクスのプリントのしかたは、「見てからプリント」「メモリー受信」「記録紙受信」から選びます。

在宅モード（家にいるとき）

■ 在宅モード時の操作（☎3-21ページ）

- お買いあげ時、着信音の回数は「無制限」になっています。



着信音が一定の回数（1～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えることもできます。
（☎3-23～3-24ページ）

ただし、相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。FAXスタートボタンを押して受信してください。

📞 お知らせ

- 着信音の回数を1回に設定すると、すぐに応答メッセージが流れてファクス受信になります。また、応答メッセージを流さないように設定することはできません。（応答メッセージが流れている間に受話器を取ると話すことができます。）
- お買い上げ時、着信音の回数は「無制限」になっていますので、ご不在のときは自動でFAXを受信することはできません。ご不在のときは「留守モード」にしておくことをお勧めします。

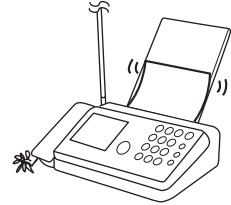


留守モード (留守にするとき)

■ 留守モード時の動作 (☞ 2-49~2-51ページ)

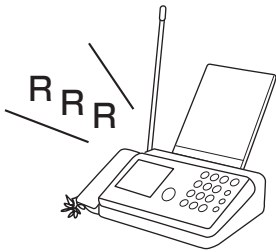
相手がファクスのとき

相手がスタートボタンを押すと自動的に受信します。



相手が電話のとき

通常の留守番電話の動作になります。



設定した回数の着信音が鳴る



(着信音の回数：4回)

※着信音の回数は変更できます。

(☞ 2-50ページ)

※お買いあげ時、着信音の回数は「4回」になっています。

応答メッセージが流れる

「ただ今、留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件を…」

3 コピー/ファクス
コピー
ファクス

ファクスの受けかた

送られてきた原稿は、プリントするとき、全体を約93%に縮小します。

ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方のファクスに登録されている電話番号をプリントするため、全体を約93%に縮小します。縮小しないでプリントしたいときは、**縮小受信**の設定(☞ 8-7ページ)を「なし」にします。

※ただし、「なし」に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、正確に1対1にならない場合があります。

ファクスを受信したときのプリントのしかた

ファクスを受信したときのプリントのしかたは、次の3通りです。お買いあげ時は、メモリー受信に設定されています。

変更するときは「FAX受信方法を選ぶ」で設定します。(☞ 4-45ページ)

見てからプリント・・・ファクスをメモリー受信(※)し、ディスプレイに表示して確認することができます。(☞ 3-25~3-29ページ) 内容を確認してから、必要なファクスだけプリントできます。(自動的にプリントしません。)

メモリー受信・・・ファクスをメモリー受信(※)してから自動的に記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったとき、受信データはメモリーに保存されています。

記録紙受信・・・ファクスを受信しながら自動的に記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。

※メモリー受信とは

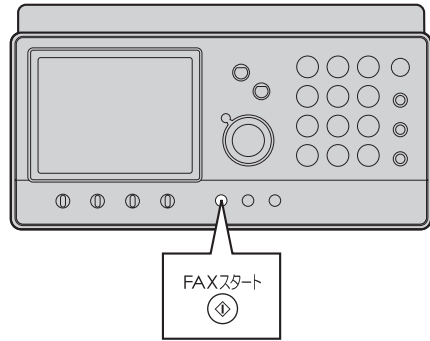
送られてきたファクスを記録紙にプリントせずに、いったん親機のメモリーに記録することです。

電話に出てからファクスを受ける



親機で電話に出てから ファクスを受ける

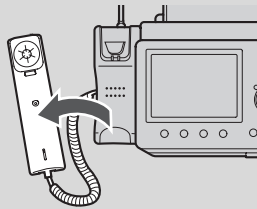
相手の方とお話したあと、ファクスに切り替えま
す。



操作のしかた

原稿をセットしていない状態で操作します。

1 着信音が鳴ったら 受話器を取る



2 ファクスに 切り替えることを 相手の方に伝えて

FAXスタート
Ⓣ を押す

- 受信が始まります。
- 受話器を取るだけで自動的にファクスに切
り替わることもあります。(おまかせ受信)

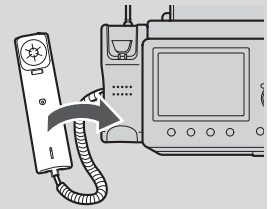
■ おまかせ受信について

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞
こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻
してください。】」とメッセージが流れて自動的に
ファクスを受けます。

(「おまかせ受信」を解除するには 8-6ページ)
※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあ
ります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」と
いう音が聞こえたら ^{FAXスタート}Ⓣ を押してください。

※【 】内のメッセージは受話器を取っているとき
のみ流れます。

3 受話器を戻す



- ファクス受信が終わると終了音が聞こえま
す。

■ 着信音が一定の回数(1~25回)鳴ったあと、 ファクス受信に切り替えるときは (3-23~3-24ページ)

在宅モード時のコール回数を設定すると、設定し
たコール回数が鳴り「ポー・ポー…」という音を
検出すると、ファクス受信に切り替わります。在
宅モードでファクス受信されることが多いとき
や、電話に出ないでファクスを受けたい場合は、
「在宅モード時のコール回数」を6回以下に設定し
てください。

7回以上に設定されると相手の方が自動送信をさ
れたときなどは、ファクスに切り替わりません。
また、相手の方が手動送信のときは、相手の方が
送信の操作(スタートボタンを押す)をしたとき
だけファクス受信できます。

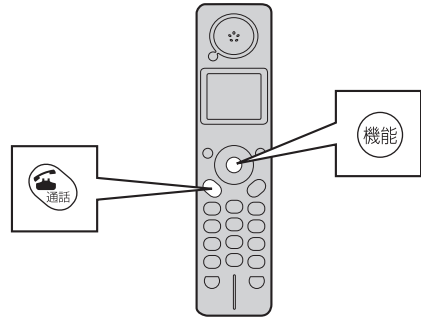
3 コピー/ファクス

電話に出てからファクスを受ける



電話に出てからファクスを受ける

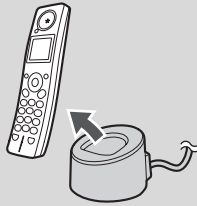
子機で電話に出てから ファクスを受ける



操作のしかた

親機に原稿をセットしていない状態で操作します。

- 1** 着信音が鳴ったら、
充電器から取って
通話 を押す



- 通話ボタンが点灯します。

- 2** 相手の方にファクス
に切り替えることを
伝えて
機能 を押して、
充電器に戻す



- 親機に原稿がセットされているときに機能ボタンを押すと送信になります。

■ おまかせ受信について

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると「ファクスを受信します。」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。

(「おまかせ受信」を解除するには 8-6ページ)

※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたら **機能** を押ししてください。

📞 お知らせ

- キャッチホンをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- プリント中はファクスを受けることはできません。電話がかかってきたときは、親機の手話器を取ってお話してください。
- 相手の方がファクスを手動送信で送ってきたとき、電話を受けても無音の場合がありますので、呼びかけて応答がないことを再度確認してから、親機のFAXスタートボタンまたは、子機の機能ボタンを押してください。

電話に出ないで自動的にファクスを受ける



親機で自動的にファクスを受ける

着信音の回数を設定(☞3-24ページ)すると、一定の回数の着信音が鳴ったあと、自動的にファクス受信に切り替えることができます。

相手側

電話をかけている

(電話をかけたあと、ファクスを送ろうとしている)



ブルル(1回目) ▼

ブルル(6回目) ▼

固定応答メッセージが流れる

「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直してください。」



相手の方がスタートボタンを押す

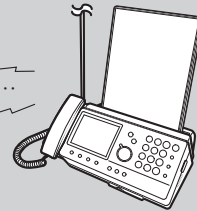


こちら側

(着信音の回数を6回に設定しているとき)

着信音が鳴る

ブルル…



着信音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。

通話したあと、ファクスを受信するには、**FAXスタート** を押してから受話器を戻してください。

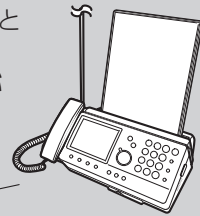


ブルル(1回目) ▼

ブルル(6回目) ▼

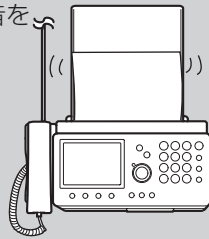
6回鳴っても電話に出ないとファクスから自動的に固定応答メッセージが流れる

「ただ今近くに…」



応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

「ポー・ポー…」という音を検出するとファクスを受信します



3 コピー/ファクス
コピー/ファクス

電話に出ないで自動的にファクスを受ける

お知らせ

- 着信音の回数を7回以上に設定すると、相手の方が自動送信や、ダイヤルしたあと、すぐにスタートボタンを押されたときはファクスに切り替わらないことがあります。在宅モードでファクス受信されることが多いときや、電話に出ないでファクスを受けたいときは、「自動的にファクスを受けるときの着信音の回数を変える」の操作で、着信音の回数を6回以下に設定してください。(☞3-24ページ)
- 留守モードでお使いのときは動作が異なります。(☞2-49~2-51ページ)
- 相手の方が「ポー・ポー…」という音を出さずに送信するファクスをご使用の場合や、相手の方がスタートボタンを押さなかったときは、自動的に受信できません。このようなときは受話器を取ってから、FAXスタートボタンを押して受信してください。
- 電話に出ないでファクスを受ける機能として「FAX優先で受信する」「FAX専用で受信する」などの設定があります。(☞8-7ページ)



電話に出ないで自動的にファクスを受ける

自動的にファクスを受けるときの着信音の回数を変える

操作のしかた

受話器を置いたまま操作します。

1 登録/機能 を押し、
で「音の設定」
を選ぶ

2 を押し、
で「親機
着信音」を選ぶ

3 を押し、
で「在宅時
コール回数」を
選ぶ

4 を押し、
で「回数選択」
を選ぶ

5 を押し

6 着信音の回数を
入力する
(01~25回)
(例) 06回

7 を押し

8 停止 を押し

●待受画面に戻ります。

- 「無制限呼出」になっているときは
着信音が鳴り続けて、応答しません。
(お買いあげ時は「無制限呼出」になっています。)
- インクリボンや受信メモリーがなくなって受信できないときは
着信音が鳴り続けて、応答しません。
- 着信音の種類を変えるときは
(1-33ページ)

3 コピー/ファクス
コピー/ファクス
電話に出ないで自動的にファクスを受ける

メモリー受信したファクスを画面で見る (見てからプリント機能)



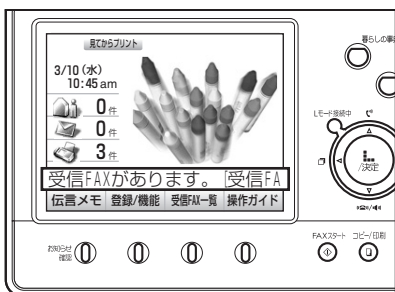
見てからプリント機能とは

メモリー受信したファクスを画面に表示して確認してから、必要なものをプリントすることができます。

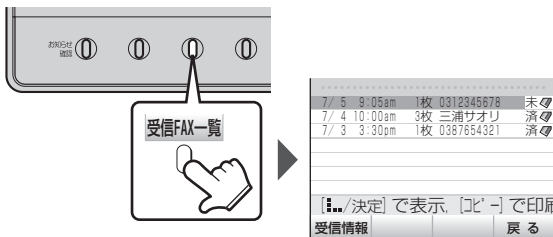
見てからプリント機能を使うときは、あらかじめ次の設定をしてください。(P.4-45ページ)
・「FAX受信方法を選ぶ」→「見てからプリント」

メモリー受信とは
送られてきたファクスを記録紙にプリントせず、いったん親機のメモリーに記録することです。

1 ファクスを受信したことが表示される
また、バックライト消灯中は、お知らせ確認ランプが点滅する



2 受信FAX一覧を押し、「受信FAX一覧」を表示する

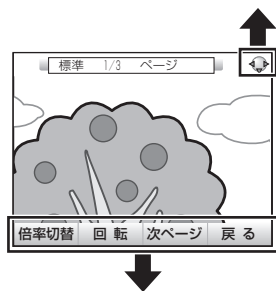


3 で表示したいファクスを選ぶ

4 を押す

たて方向にスクロールできることを示しています。

よこ方向にスクロールできることを示しています。

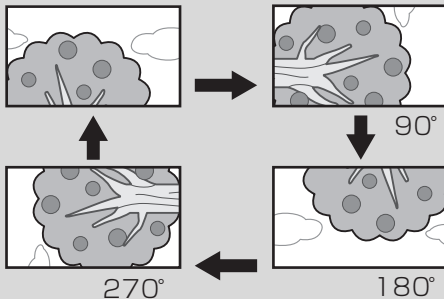


倍率切替

押すたびに拡大/縮小/標準表示されます。

回転

押すたびに表示を90°ずつ右回転させます。



次ページ

次のページを表示します。次のページがないときは、押ししても無効となります。

戻る

1つ前の画面にもどします。

3 コピー/ファクス

メモリー受信したファクスを画面で見る (見てからプリント機能)

データを印刷する

画面にファクスが表示されているときに、 コピー/印刷を押します。

データを消去する

「受信FAX一覧」で、消去したいファクスを選び、 を2回押します。また、データの表示中に を2回押して、ページごとに消去することもできます。



メモリー受信したファクスを画面で見ると（見てからプリント機能）

■ 表示中の操作について（☎3-28～3-29ページ）

■ メモリー受信枚数・受信件数について

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で約50枚までメモリー受信できます。原稿の内容によって、受信できる枚数は変わります。（最大でも約60枚または30件までです。）

受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。

■ メモリーがいっぱいになったときは

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになります（「通信エラー（1～15）」と表示されます）。メモリー受信した内容をプリント／消去したり、不要な録音メッセージを消去してください。または、「FAX受信方法」の設定を「記録紙受信」にしてください。（「記録紙受信」の場合は、インクリボン、記録紙がセットされているか確認してください。セットされていないと受信できません。）

お知らせ

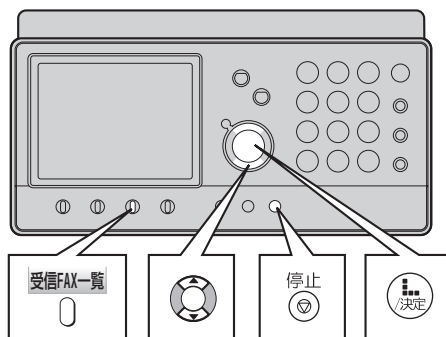
- ファクスの受信方法を「メモリー受信」に設定していると（FAX受信方法を選ぶ ☎4-45ページ）、記録紙やインクリボン切れなどでプリントできなかったときは、「見てからプリント」機能と同じ操作で内容を確認できます。（待受画面に「メモリー受信」と表示されます。）
- 「記録紙受信」の設定で受信したファクスは（FAX受信方法を選ぶ ☎4-45ページ）、「見てからプリント」機能で内容を確認することはできません。

メモリー受信したファクスを画面で見る（見てからプリント機能）



受信したファクスを画面に表示する

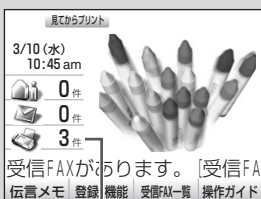
「見てからプリント」機能を使ってファクスをメモリー受信すると、受信内容を画面に表示して確認することができます。



操作ガイド 0 で受信データの確認方法を見ることができます。

操作のしかた

1 「受信FAXがあります。…」と表示される



メモリー受信されている件数が表示されます。

- 待受画面にメモリー受信件数が表示されます。

2 受信FAX一覧 0 を押す

7/ 5	9:05am	1枚	0312345678	未
7/ 4	10:00am	3枚	三浦サオリ	済
7/ 3	3:30pm	1枚	0387654321	済

- 受信FAX一覧が表示されます。
- 8件目以降は でカーソルを移動して表示させます。

■途中でやめるときは

を押します。

■受信FAX一覧について

未確認の受信データのときは「未」と表示します。

7/ 5	9:05am	1枚	0312345678	未
7/ 4	10:00am	3枚	三浦サオリ	済
7/ 3	3:30pm	1枚	0387654321	済

受信した日付・時刻を表示します。

受信した枚数（ページ数）を表示します。

ナンバー・ディスプレイ利用時には相手の番号を表示します。
 ネーム・ディスプレイ利用時や電話帳に登録しているときは名前を表示します。
 （全角6文字、半角12文字分まで。）

3 で表示したい受信データを選び、 を押す



- メモリー受信したデータを表示します。
- 表示している受信データをスクロール／拡大／縮小／回転／ページ切替／プリント／消去することができます。

4 を押す

- 待受画面に戻ります。

■「データがありません」と表示したときは

メモリー受信されているデータはありません。

■受信情報を確認したいときは

を押したあと、 を押す。

（受信FAXの件数、未確認FAXの件数、メモリー残量（%）が約5秒間表示されます。）

お知らせ

- A4サイズの長さを超える受信データは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、2ページに分けての送信などを依頼してください。
- メモリー受信したデータによっては表示されるまでに時間がかかる場合もあります。

3 コピー／ファクス

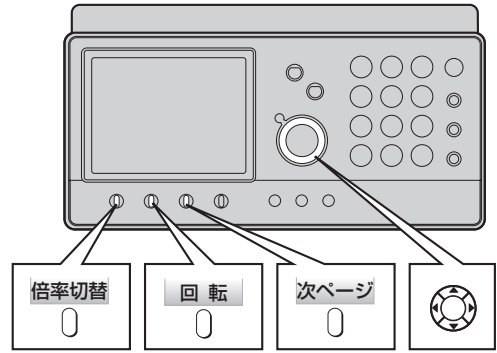
メモリー受信したファクスを画面で見る（見てからプリント機能）



メモリー受信したファクスを画面で見る（見てからプリント機能）

表示したファクスの見かた

メモリー受信した内容を画面に表示することができます。（☎3-27ページ）
表示しているデータを上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。



（例）メモリー受信したデータは、下記のように表示されます。（受信内容が複数ページあるときは、1ページ目を表示します。）

メモリー受信したデータ

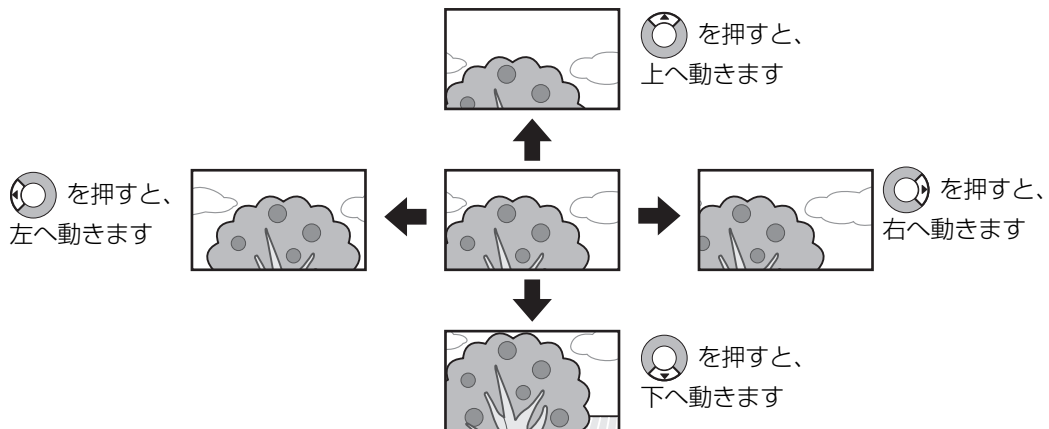
現在表示している倍率 現在表示しているページ／総ページ

- 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。

倍率切替 や 回転 は表示されるまで少し時間がかかります。

<表示しているデータを上下左右に動かす（スクロールする）>

●データの端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。



次ページへ→



メモリー受信したファクスを画面で見る（見てからプリント機能）

→つづき

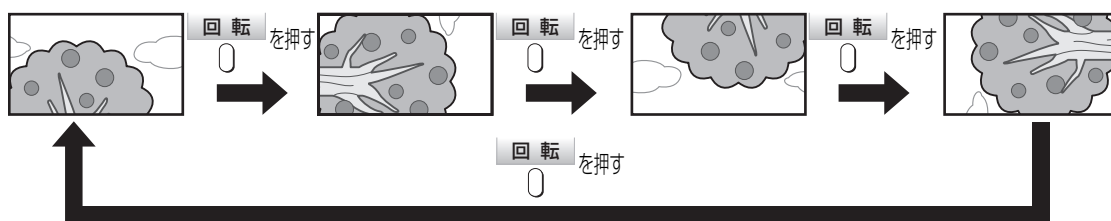
<表示しているデータを拡大／縮小／標準表示する>

倍率切り替えボタンを押すたびに拡大／縮小／標準表示されます。



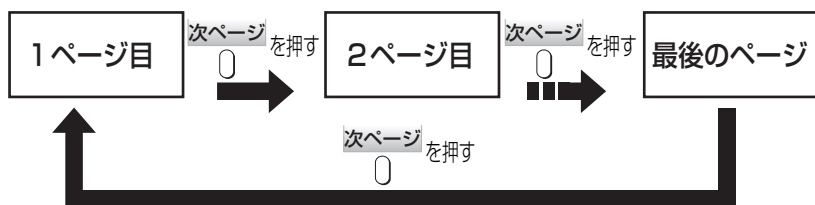
<表示しているデータを回転する>

回転ボタンを押すたびに右回り（時計回りに）90度ずつ回転します。



<ページを変える>

複数ページをメモリー受信しているデータのときは、次ページボタンを押すたびに次のページを表示します。



●最後のページを表示しているときに次ページボタンを押すと1ページ目に戻ります。

<表示しているページをプリントする>

表示中に を押す

表示中のページをプリントします。（プリントしたあとは、待受画面に戻ります。）

※複数ページのときは、プリントしたページのみメモリーから削除されます。

1枚のみのときもプリントしたFAXデータはメモリーから削除されます。

<表示しているページを消去する>

表示中に を2回押す

※複数ページのときは、表示していたページのみメモリーから削除されます。

■メモリー受信したデータを1件ずつ消去するときは（☎3-31ページ）

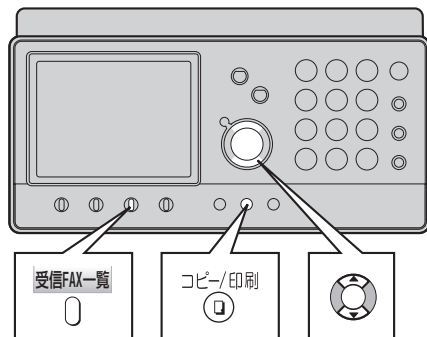
お知らせ

- 拡大／縮小表示中にコピー／印刷ボタンを押しても等倍でプリントします。
- A4サイズの長さを超えるデータは、A4サイズまでしか表示できません。送信元の原稿の内容が、A4サイズより長くなるときは、2ページに分けての送信などを依頼してください。



メモリー受信したファクスをプリントする

メモリー受信した内容をプリントするときの操作です。



操作のしかた

3 コピー/ファクス

1 受信FAX一覧を押す

7/ 5 9:05am	1枚	0312345678	未
7/ 4 10:00am	3枚	三浦サオリ	済
7/ 3 3:30pm	1枚	0387654321	済

[L]/決定 で表示、[C] で印刷
受信情報 戻る

- 受信FAX一覧が表示されます。
- 8件目以降は を押して表示させます。

■途中でやめるときは

を押します。

■1ページずつプリントするとき

- ① を押す (受信FAX一覧が表示されます。)
- ② でプリントしたい受信データを選んだあと、 を押す (選んだ受信データの1ページ目を表示します。)
- ③ を押してプリントしたいページのみを表示させる
- ④ を押す (表示していたページをプリントします。プリントしたページは、メモリーから消えます。)

■プリント中にインクリボンがなくなったときは

受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出してから、インクリボンを交換 (7-8~7-10ページ) してください。

2 でプリントしたい受信データを選ぶ

7/ 5 9:05am	1枚	0312345678	未
7/ 4 10:00am	3枚	三浦サオリ	済
7/ 3 3:30pm	1枚	0387654321	済

[L]/決定 で表示、[C] で印刷
受信情報 戻る

3 コピー/印刷 を押す

- プリントを開始します。プリントした受信データはメモリーから消えます。

■受信FAX一覧とは (7-27ページ)

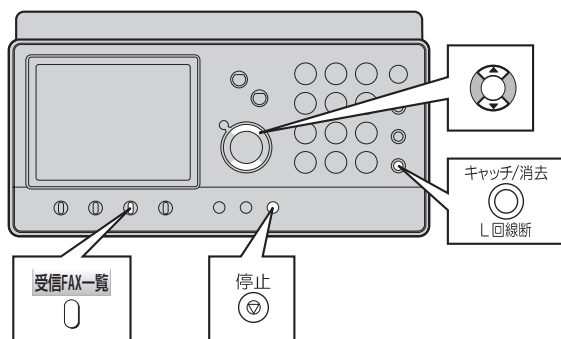
お知らせ

- プリント中は、子機で電話をかけたり受けたりすることはできません。

メモリー受信したファクスを消去する

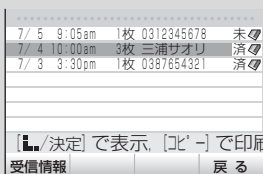


メモリー受信した内容を記録紙にプリントしないで、受信FAX一覧から選んで消去することができます。



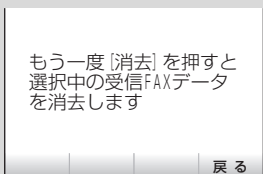
操作のしかた

1 受信FAX一覧 を押し、
 で消去したい
 受信データを選ぶ

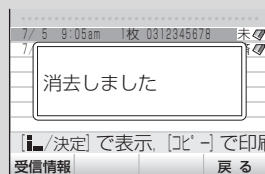


- 受信FAX一覧が表示されます。
- 8件目以降は でカーソルを移動して表示させます。

2 キャンセル/消去
 を押す
 L回線断



3 もう一度
 キャンセル/消去
 を押す
 L回線断



- 選んだ受信データが消去されます。

4 停止
 を押す

- 他に受信データがないときは待受画面に戻りますのでこの操作をする必要はありません。

■ 1 ページずつ消去するとき

- ① 受信FAX一覧 を押す (受信FAX一覧が表示されます。)
- ② で消去したい受信データを選び、 を押す (選んだ受信データの1ページ目を表示します。)
- ③ 次ページ を押して消去したいページを表示させる
- ④ キャンセル/消去 を2回押す (表示していたページを消去します。)
- ⑤ 停止 を押す (他に受信データがないときは、自動的に待受画面に戻ります。)

■ 途中でやめるときは

- ① 停止 を押します。

■ 確認済みの受信データを消去するとき

- ① 待受画面で キャンセル/消去 を押し、 で「確認済受信FAX 全消去」を選ぶ
- ② を押す
- ③ で「する」を選んで、 を押す

■ すべてのメモリー受信データを消去するとき

- ① 待受画面で キャンセル/消去 を押し、 で「受信FAX 全消去」を選ぶ
- ② を押す
- ③ で「する」を選んで、 を押す

3 コピー/ファクス

メモリー受信したファクスを消去する



ご参考 ファクシミリで文字や画像が送れるしくみ

ファクス送信の流れ

電話がつながったあと、送り手側の原稿の内容が電話回線を通じて電送され、受け手側の記録紙にプリントされます。

原稿とは…

(送りたい内容が書かれているもの)

送り手側



読み取り→圧縮→変調

電送

(電話と同じ回線を使います)



受け手側



復調→伸長→出力

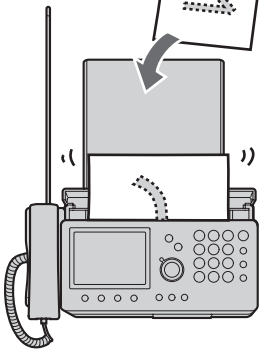
記録紙とは…

(送られてきた内容がプリントされるもの、またはされたもの)

■送り手側と受け手側のファクシミリの動作は次のようになっています

送り手側のファクシミリの動作

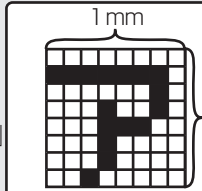
原稿



読み取り (走査)

横方向を1mmあたり8個、縦方向を1mmあたり約4個～16個の細かさで読み取ります。

右の図はイメージです。1mm×1mmの中に「ア」が描かれているわけではありません。



1列目	……	00000000
2列目	……	11111110
3列目	……	00000010
4列目	……	00010010
		⋮
		以下続く

文字や図に光を当てて、白と黒の点の集まりとして読み取ります。白は0、黒は1として読み取ります。

圧縮

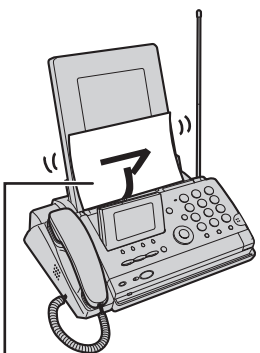
0と1の集まりになったデータのサイズを、短時間で送れるように小さくします。

変調

電話回線で電送しやすい形に変えます。

電送 (電話と同じ回線を使います)

受け手側のファクシミリの動作



記録紙

復調

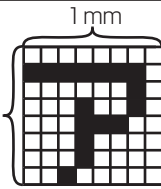
電話回線で送られてきたものを、ファクシミリ内で処理しやすい形に戻します。

伸長

小さなサイズになっているデータを、もとのサイズに戻し、0と1の集まり (白と黒の点の集まり) にします。

1列目	……	00000000
2列目	……	11111110
3列目	……	00000010
4列目	……	00010010
		⋮
		以下続く

約1mm (「小さな字」のとき)



左の図はイメージです。1mm×1mmの中に「ア」が描かれているわけではありません。

出力

記録紙にプリントされます。

普通紙ファクシミリでは、受信した内容を、いったんメモリーに記録してからプリントします。受信終了からプリント開始までに、少し時間がかかります。